

会長講演 (S83)

- 6月4日(木) 8:30~9:00 第1会場
 座長 岡 明 (埼玉県立小児医療センター神経科)
 PL 難病の子どもたちがひかりに：未来を拓く小児神経学
 小坂 仁 (自治医科大学小児科学)

招待講演 (S84)

招待講演 1

- 6月4日(木) 14:10~15:10 第1会場
 座長 山形崇倫 (栃木県立リハビリテーションセンター小児科)
 IL1 Newborn screening in Taiwan
 Yin-Hsiu Chien (National Taiwan University Hospital, Taipei, Taiwan)

招待講演 2

- 6月5日(金) 11:30~12:30 第1会場
 座長 小島華林 (自治医科大学小児科学)
 IL2 MicroRNA control of neuroepithelial maturation and congenital hydrocephalus
 Ronald J. Parchem (Baylor College of Medicine, USA)

招待講演 3

- 6月5日(金) 14:30~15:30 第1会場
 座長 村松一洋 (自治医科大学小児科学)
 IL3 Emerging Therapeutics for PKAN
 Susan J. Hayflick
 (Department of Molecular and Medical Genetics, Oregon Health & Science University, USA)

招待講演 4

- 6月6日(土) 11:30~12:30 第1会場
 座長 門田行史 (自治医科大学小児科学)
 IL4 Research on the interaction of neurodevelopmental disorders using computational intelligence
 Alessandro Di Nuovo (Sheffield Hallam University, UK)

Yukio Fukuyama Memorial Lecture (S88)

- 6月4日(木) 13:10~14:10 第1会場
 座長 和田敬仁 (ひだまりクリニック小児科)
 ML Understanding ATR-X syndrome, a disease of chromatin
 Richard J. Gibbons (University of Oxford, UK)

特別講演 (S89)

特別講演 1

- 6月4日(木) 15:20~16:20 第2会場
 座長 小坂 仁 (自治医科大学小児科学)
 SL1 遺伝子治療
 村松慎一 (自治医科大学)

特別講演 2

- 6月5日(金) 10:20~11:20 第1会場
 座長 粟屋智就 (大阪公立大学大学院医学研究科)
 SL2 氏も育ちも - 行動遺伝学の人間観
 安藤寿康 (慶應義塾大学)

特別講演 3

- 6月5日(金) 15:30~16:30 第1会場
 座長 齋藤伸治(名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
 SL3 神経系におけるオートファジーの病態生理的意義
 水島 昇(東京大学大学院医学系研究科分子生物学分野)

特別講演 4

- 6月6日(土) 10:20~11:20 第1会場
 座長 加藤光広(昭和医科大学小児科)
 SL4 シナプス研究で迫る精神神経疾患・発達障害
 柚崎通介(慶應義塾大学ヒト生物学-微生物叢-量子計算研究センター)

教育講演 (S93)

教育講演 1

- 6月4日(木) 15:20~16:20 第1会場
 座長 永瀬裕朗(永瀬医院小児科・小児脳神経内科)
 EL1 小児急性脳症画像診断の最新情報
 高梨潤一(東京女子医科大学八千代医療センター小児科)

教育講演 2

- 6月4日(木) 15:20~16:20 第3会場
 座長 池田(谷口)真理子(高知大学医学部小児思春期医学講座)
 EL2 生命科学・医学研究成果の発表・投稿に伴う倫理的課題の検討
 金村米博
 (国立病院機構大阪医療センター臨床研究センター, 国立病院機構本部総合研究センター臨床研究支援部, 国立病院機構大阪医療センター脳神経外科)

教育講演 3

- 6月4日(木) 15:20~16:20 第5会場
 座長 粟野宏之(鳥取大学医学部附属病院遺伝子診療科)
 EL3 拡大する新生児スクリーニングを生命倫理の観点から考える
 右田王介(聖マリアンナ医科大学)

教育講演 4

- 6月4日(木) 15:20~16:20 第6会場
 座長 村松一洋(自治医科大学小児科学)
 EL4 AlphaFold 時代の基礎研究の進め方: オートファジー研究を例に
 野田展生(北海道大学遺伝子病制御研究所, 公益財団法人微生物化学研究会微生物化学研究所)

教育講演 5

- 6月4日(木) 15:20~16:20 第7会場
 座長 江川 潔(北海道大学医学部小児科)
 EL5 もやもや病における診断と治療の進歩
 藤村 幹(北海道大学脳神経外科)

教育講演 6

- 6月4日(木) 15:20~16:20 第8会場
 座長 稲葉雄二(長野県立こども病院神経小児科)
 EL6 小児の Guillain-Barre 症候群 一知っておきたい診断の tips と pitfall—
 藤井克則(長野県立こども病院教育研修センター)

教育講演 7

- 6月4日(木) 15:20~16:20 第9会場
 座長 永光信一郎(福岡大学小児科)
 EL7 チック症の温故知新 一症候と介入をむすぶ現代の臨床知—
 井上 建(獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター)

教育講演 8 : HOT TOPICS

6月5日(金) 10:20~12:20 第2会場

座長 佐久間 啓(東京都医学総合研究所臨床医科学研究分野)

EL8-1 神経発達症

前垣義弘(鳥取大学医学部脳神経小児科)

EL8-2 小児てんかん徒然草

今井克美(NHO 静岡てんかん・神経医療センター)

EL8-3 遺伝子・遺伝性疾患

齋藤伸治(名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)

EL8-4 神経筋疾患診療の現在地と次世代への架け橋 ―ゲノム診断からプレジジョン・メディシン, 社会参加まで―

小牧宏文(国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター)

教育講演 9

6月5日(金) 10:20~11:20 第3会場

座長 衛藤 薫(東京女子医科大学附属足立医療センター小児科)

EL9 発生期における要因が脳皮質形成と生後の脳機能に及ぼす影響

久保健一郎(東京慈恵会医科大学解剖学, 慶應義塾大学医学部解剖学)

教育講演 10

6月5日(金) 10:20~11:20 第4会場

座長 森本昌史(京都府立医科大学医学部看護学科医学講座小児科学)

EL10 脳神経系の診断学 ―知っておきたい解剖学と診断のコツ―

藤井克則(長野県立こども病院教育研修センター)

教育講演 11

6月5日(金) 10:20~11:20 第5会場

座長 月田貴和子(自治医科大学遺伝子治療研究センター・小児科)

EL11 標的タンパク質分解と創薬

有本博一(東北大学大学院生命科学研究科)

教育講演 12

6月5日(金) 10:20~11:20 第6会場

座長 高梨潤一(東京女子医科大学八千代医療センター小児科)

EL12 日本における小児神経学のあゆみ

加藤光広(昭和医科大学医学部小児科, 昭和医科大学病院てんかん診療センター)

教育講演 13

6月5日(金) 10:20~11:20 第7会場

座長 福田光成(東京都立神経病院神経小児科)

EL13 小児の不随意運動診療 up to date

柏井洋文(東京都立神経病院神経小児科)

教育講演 14

6月5日(金) 10:20~11:20 第8会場

座長 石山昭彦(東京都立神経病院神経小児科)

EL14 重症筋無力症診療の新たな展開

鈴木重明(都立神経病院脳神経内科)

教育講演 15

6月6日(土) 10:20~11:20 第6会場

座長 九鬼一郎(大阪市立総合医療センター小児脳神経・言語療法内科)

EL15 難治型回部分発作重積型急性脳炎: 希少疾患研究をどのように進めるか?

佐久間 啓(東京都医学総合研究所臨床医科学研究分野)

教育講演 16

6月6日(土) 10:20~11:20 第7会場

座長 夏目 淳(名古屋大学大学院医学系研究科障害児(者)医療学寄附講座)

EL16 てんかん外科 up to date ―基本的考え方から最新の進歩まで―

松尾 健(東京都立神経病院脳神経外科)

会長企画 (モーニングセミナー)

会長企画 (モーニングセミナー)

6月6日(土) 8:00~8:50 第2会場

最先端治療を“社会に届ける”ために 一 小児難治性神経疾患治療への挑戦—

座長 小坂 仁 (自治医科大学小児科学)

※令和6年度 大学教育再生戦略推進費「高度な臨床・研究能力を有する医師養成促進支援」関連企画

演者 小坂 仁 (自治医科大学小児科学)

小島華林 (自治医科大学小児科学)

Innovation for NEW HOPE 学生協働プログラム参加者・教育連携協働者

シンポジウム (S112)

シンポジウム1: てんかん重積状態に対する病院前治療の現状と課題

6月4日(木) 10:10~11:40 第1会場

座長 菊池健二郎 (埼玉県立小児医療センター神経科/小児てんかんセンター)

九鬼一郎 (大阪市立総合医療センター小児脳神経・言語療法内科)

S1-1 小児てんかん重積状態に対する病院前治療の有用性と使用実態

西山将広 (神戸大学大学院医学研究科小児科)

S1-2 小児てんかん重積状態に対する diazepam 鼻腔内投与の有用性と安全性

松浦隆樹 (埼玉県立小児医療センター小児てんかんセンター, 東京慈恵会医科大学小児科)

S1-3 救急医から見たブコラム・スピリアへの期待と懸念

野澤正寛 (滋賀県立総合病院救急科小児救急科)

S1-4 てんかん重積状態に対する病院前治療として, 救急救命士がレスキュー薬を投与できるための課題と展望

菊池健二郎 (埼玉県立小児医療センター神経科/小児てんかんセンター)

S1-5 てんかん重積状態に対する病院前治療の現状と課題

黒岩ルビー (ドラベ症候群患者家族会)

シンポジウム2: 様々なタイプの急性脳症・脳炎と新しい治療法

6月4日(木) 16:35~18:05 第1会場

座長 高橋幸利 (静岡てんかん・神経医療センター小児科)

高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)

S2-1 COVID-19 前後での急性脳症の全国調査データ

小俣 卓 (東京女子医科大学八千代医療センター神経小児科)

S2-2 けいれん重積型(二相性)急性脳症(AESD)の臨床像・病態理解と新規治療の可能性

一ノ瀬文男 (佐賀大学医学部小児科)

S2-3 脳脊髄根末梢神経炎 EMRN と抗ラクツシルセラミド抗体

武藤多津郎

(藤田医科大学医学部脳神経内科, 博愛会開西病院脳神経疾患診療センター, 順天堂大学ニューロングリアクロストーク研究センター東京)

S2-4 自己免疫性脳炎に対する診断・治療の進歩

亀井 聡 (上尾中央総合病院脳神経内科神経感染症センター)

シンポジウム3: 神経科学—小児神経学 トランスレーショナルシンポジウム

6月4日(木) 10:10~11:40 第2会場

座長 江川 潔 (北海道大学医学部小児科)

小山隆太 (国立精神・神経医療研究センター・神経研究所)

S3-1 神経-グリア相互作用から読み解く発達期脳でのてんかん病態

小山隆太 (国立精神・神経医療研究センター)

S3-2 脳疾患の制御を目的とした新規脳刺激法の研究開発

竹内雄一 (近畿大学薬学部医療薬学科, 北海道大学大学院薬学研究院)

S3-3 シナプス外 GABA 受容体を標的とした発達障害性疾患の治療戦略

江川 潔 (北海道大学医学部小児科)

S3-4 アストロサイトをターゲットするてんかん治療介入の可能性

佐野史和 (山梨大学医学部小児科, 山梨大学医学部薬理学, 山梨大学 GLIA センター)

S3-5 自閉症のゲノミクス, シングルセル解析からの新知見

野村 淳 (神戸大学医学部生物学的精神医学)

シンポジウム 4：炎症性神経疾患の治療：What, When, How and Why?

6月4日(木) 10:10~11:40 第3会場

座長 高橋幸利 (静岡てんかん・神経医療センター小児科)

佐久間 啓 (東京都医学総合研究所臨床医科学研究分野)

S4-1 急性脳症の管理-What・When・How・Whyの視点で自己免疫性神経疾患と対比して

丸山あずさ (兵庫県立こども病院神経内科)

S4-2 髄液 cell-based assay 陽性抗 NMDA 受容体脳炎の予後：免疫治療の影響

高橋幸利 (静岡てんかん・神経医療センター)

S4-3 小児 MOG 抗体関連疾患 11 例の治療経過からみた再発因子の検討

松田慎平

(順天堂大学医学部附属順天堂医院小児科・思春期科, 東京都医学総合研究所臨床医科学研究分野
こどもの脳プロジェクト)

S4-4 NMOSD の治療戦略 一急性期治療, 再発予防, 長期管理一

水野朋子 (東京科学大学小児科)

シンポジウム 5：新たに治療可能となった小児期発症神経疾患に対する新生児スクリーニングを考える

6月4日(木) 16:35~18:05 第3会場

座長 荒川玲子 (国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター臨床ゲノム科)

栗野宏之 (鳥取大学研究推進機構研究基盤戦略センター)

S5-1 Duchenne 型筋ジストロフィーの新生児マススクリーニングを考える

李 知子 (兵庫医科大学小児科学)

S5-2 副腎白質ジストロフィー 新生児スクリーニングによる難病克服への取組み

下澤伸行 (岐阜大学高等研究院, 岐阜大学大学院医学系研究科小児科)

S5-3 ムコ多糖症 (MPS) の新生児スクリーニングを考える

小須賀基通 (国立成育医療研究センター遺伝診療科)

S5-4 拡大新生児スクリーニングで陽性になった患者家族への支援を考える

浦野真理 (国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター臨床ゲノム科)

シンポジウム 6：超早産児の脳の『臨界期』を育む：小児神経科医が担う生涯を見据えた神経発達支援

6月4日(木) 10:10~11:40 第4会場

座長 荒井 洋 (ボバース記念病院小児神経科)

出口貴美子 (キッズ&ファミリークリニック出口小児科医院)

S6-1 超早産児の神経発達症は NICU 退院後にどのように現れるか

出口貴美子 (キッズ&ファミリークリニック出口小児科医院)

S6-2 超早産児の脳画像から見る臨界期：NICU から見える脳の可塑性とその影響

城所博之 (名古屋大学医学部小児科)

S6-3 小児神経科医からみた超早産児の学習障害の早期兆候と介入

福井美保 (大阪医科薬科大学小児科, 大阪大谷大学教育学部)

シンポジウム 7：Duchenne 型筋ジストロフィーにおける現状の治療限界と新規治療薬の開発

6月4日(木) 10:10~11:40 第5会場

座長 石垣景子 (東京女子医科大学小児科)

栗屋智就 (京都大学医学研究科附属総合解剖センター)

S7-1 Duchenne 型筋ジストロフィーにおけるステロイド治療

石垣景子 (東京女子医科大学小児科)

S7-2 Duchenne 型筋ジストロフィー心筋症の標準治療と新規治療

木村公一 (東京大学医科学研究所)

S7-3 Duchenne 型筋ジストロフィーにおけるアンチセンス核酸の治療の現状と課題

本橋裕子 (国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科)

S7-4 デュシェンヌ型筋ジストロフィーに対する遺伝子治療薬の臨床実装：安全性マネジメントを最優先とした治療戦略

小牧宏文 (国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター)

シンポジウム 8：小児神経科医の活躍できる場所 —臨床医以外のキャリアプランを考える—

6月4日(木) 16:35~18:05 第5会場

- 座長 栗屋智就 (京都大学医学研究科附属総合解剖センター)
 福井美保 (大阪大谷大学教育学部, 大阪医科薬科大学小児科)
- S8-1 教員養成課程をもつ大学教員としてのキャリア
 福井美保 (大阪大谷大学教育学部, 大阪医科薬科大学小児科)
- S8-2 医療と行政を架橋する小児科医 —行政官というキャリア—
 古谷るふ (こども家庭庁成育局母子保健課)
- S8-3 Translational Medicine がつなぐ臨床と製薬業界
 清水玲子 (日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社)
- S8-4 白衣の外で何ができるか —海外・研究・行政へのキャリアの広がり—
 武内俊樹 (岡山大学学術研究院医歯薬学域小児発達病因病態学分野)

シンポジウム 9：新規薬剤・機器開発の痛みと喜び

6月4日(木) 10:10~11:40 第6会場

- 座長 白石秀明 (獨協医科大学小児科学)
- S9-1 装置を世にだすための特許戦略標準化戦略の光と影 —近赤外分光法装置 (NIRS) を例にして—
 江田英雄 (広島工業大学工学部電子情報工学科)
- S9-2 限局性皮質異形成 II 型のでんかん発作に対する分子標的治療薬開発
 加藤光広 (昭和医科大学医学部小児科, 昭和医科大学病院てんかん診療センター)
- S9-3 遺伝子治療開発の夢と現実
 小島華林 (自治医科大学小児科)

シンポジウム 10：神経発達症を Biopsychosocial に考える

6月4日(木) 10:10~11:40 第8会場

- 座長 下野九理子 (大阪大学大学院連合小児発達学研究所)
 森 達夫 (徳島大学医学部学校保健学分野)
- S10-1 大規模脳画像データベースを利用した注意欠如多動症の神経メカニズムの解明
 寿 秋露
 (福井大学子どものこころの発達研究センター, 大阪大学大学院連合小児発達学研究所福井校)
- S10-2 自閉スペクトラム症における電気生理学的研究の可能性
 岩谷祥子 (大阪大学大学院連合小児発達学研究所, 大阪大学大学院医学系研究科小児科)
- S10-3 ADHD に対する外来診療での変則的ペアレントトレーニングの試み
 多田弘子 (千葉県済生会習志野病院小児科)
- S10-4 小児神経科医による福祉・教育へのアウトリーチ及び医療現場における実践について
 小泉慎也 (東京臨海病院小児科)

シンポジウム 11：NBIA の診療・研究の進捗

6月5日(金) 16:40~18:10 第1会場

- 座長 青天目 信 (国立病院機構大阪医療センター小児科)
 三谷忠宏 (国際医療福祉大学病院小児科)
- S11-1 Who's who : Neurodegeneration with brain iron accumulation
 森 壱 (自治医科大学医学部放射線医学講座)
- S11-2 SENDA/BPAN 疾患病態の理解
 月田貴和子 (自治医科大学遺伝子治療研究センター, 自治医科大学小児科)
- S11-3 小児 BPAN 患者の脳波における特徴
 鈴木良輔 (名古屋大学大学院医学系研究科小児科学)
- S11-4 BPAN の早期診断と病態理解に有用な画像バイオマーカーの探索
 光松孝真 (名古屋大学大学院医学系研究科小児科)
- S11-5 脳内鉄沈着神経変性症 (NBIA) の病理
 清水 宏 (新潟大学脳研究所病理学分野 ChBRI)
- S11-6 NBIA 研究の新展開 —病態・診断・治療開発の最前線—
 村松一洋 (自治医科大学小児科)

シンポジウム 12：5 歳児健診における小児神経科医の役割

6 月 5 日 (金) 16:40～18:10 第 2 会場

座長 永光信一郎 (福岡大学医学部小児科)
三牧正和 (帝京大学小児科)

S12-1 5 歳児健診で気づく発達障害の徴候

小枝達也 (鳥取県立総合療育センター)

S12-2 5 歳児健診にて小児神経科医に求められていることは何か？

是松聖悟 (埼玉医科大学総合医療センター小児科)

S12-3 5 歳児健診のフォローアップ体制における小児神経科医の役割

小倉加恵子

(鳥取県福祉保健部・子ども家庭部兼倉吉保健所, 国立成育医療研究センターこころの診療科)

S12-4 かかりつけ医による発達障害のファーストタッチ

宮崎雅仁 (小児科内科三好医院, 日本小児科医会)

シンポジウム 13：Practical Aspects of the New Seizure and Epilepsy Classification (てんかん新分類の実際)

6 月 5 日 (金) 16:40～18:10 第 3 会場

座長 藤本礼尚 (獨協医科大学病院てんかんセンター)
岡西 徹 (鳥取大学医学部脳神経小児科学分野)

S13-1 ILAE Classification and Definition of Epilepsy Syndromes: Bedside Use, Implementation Challenges, and Future Outlook

九鬼一郎 (大阪市立総合医療センター小児脳神経・言語療法内科)

S13-2 The ILAE Classification of Seizure Types: Recent Evolution and the 2025 Update

日暮憲道 (武蔵小杉小児科・てんかんクリニック)

シンポジウム 14：核酸医薬品による治療の現状と将来

6 月 5 日 (金) 16:40～18:10 第 5 会場

座長 江川 潔 (北海道大学医学部小児科)
粟屋智就 (大阪公立大学医学研究科機能細胞形態学, 京都大学医学研究科附属総合解剖センター)

S14-1 アンジェルマン症候群に対する核酸医薬品適応の現状と課題

江川 潔 (北海道大学医学部小児科)

S14-2 デュシェンヌ型筋ジストロフィーに対するエクソン・スキップ治療 一個別化医療の現在と未来

青木吉嗣 (国立精神・神経医療研究センター)

S14-3 核酸創薬研究の現状と課題

今里 暁 (日本新薬株式会社東部創薬研究所)

S14-4 遺伝性疾患に対する核酸医薬品適応の可能性

粟屋智就

(大阪公立大学医学研究科機能細胞形態学, 京都大学大学院医学研究科附属総合解剖センター)

シンポジウム 15：緊急提言：ポリオ侵入を阻止せよ：ギラン・バレー症候群を含めた全数届出の再徹底を問う

6 月 5 日 (金) 16:40～18:10 第 6 会場

座長 吉良龍太郎 (福岡市立こども病院小児神経科)
鳥巢浩幸 (福岡歯科大学小児科)

S15-1 急性弛緩性麻痺 (AFP) と急性弛緩性脊髄炎 (AFM)：オーバービュー

多屋馨子 (神奈川県衛生研究所)

S15-2 急性弛緩性脊髄炎の神経画像所見

奥村彰久 (愛知医科大学医学部小児科)

S15-3 急性弛緩性麻痺：臨床的特徴とサーベイランスの重要性

チョンピンフィー (九州大学大学院医学研究院成長発達医学)

シンポジウム 16：神経発達症における性差医療：診断・認知・支援の再構築 ― 女児の神経発達症：見えにくい困難への科学的アプローチ

6月5日(金) 16:40~18:10 第8会場

座長 大守(川崎)伊織(岡山大学学術研究院教育学域)
下野九理子(大阪大学大学院連合小児発達学研究所)

- S16-1 神経発達症における性差の疫学的知見と診断傾向
篠山大明(信州大学医学部精神医学教室)
- S16-2 心理検査にみる ASD・ADHD の性差による認知特性：子どもから成人まで
金井智恵子(和洋女子大学人文学部こども発達学科, 昭和医科大学発達障害医療研究所)
- S16-3 ASD 女性のカモフラージュ
砂川芽吹(お茶の水女子大学生活科学部心理学科)
- S16-4 小児神経外来で診る女児の神経発達症
加賀佳美(山梨大学医学部小児科)

シンポジウム 17：症例から学ぶ治療可能な神経疾患：早期診断と介入の実例

6月6日(土) 10:20~11:50 第4会場

座長 秋山倫之(岡山大学病院小児神経科)
植松有里佳(東北大学病院小児科)

- S17-1 後期乳児型 Krabbe 病の症例報告 ― 新生児スクリーニング導入の必要性―
野村好平(獨協医科大学医学部小児科学)
- S17-2 原発性 Coenzyme Q10 欠乏症の早期診断に向けた非侵襲的診断方法の検討
渡邊知佳(自治医科大学小児科)
- S17-3 早期診断し生後2ヶ月からリジン制限療法を開始した ALDH7A1 欠損症の一例
井田紘人(国立成育医療研究センター神経内科)
- S17-4 CAD 遺伝子バリエーションを有するてんかん患者への経口ウリジン治療の効果
山口解冬(NHO 静岡てんかん・神経医療センター小児科)
- S17-5 早期診断からケトン食療法に進み、長期に発作抑制・発達改善している KCNT1-発達性てんかん性脳症の1例からの考察
高橋幸利(NHO 静岡てんかん・神経医療センター小児科)

シンポジウム 18：ニューロモデュレーションの現在と未来

6月6日(土) 10:20~11:50 第5会場

座長 熊田聡子(東京都立神経病院神経小児科)
岩崎真樹(国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科)

- S18-1 VNS によるてんかん治療の現状と未来
白石秀明(獨協医科大学小児科学)
- S18-2 てんかんに対する DBS 治療の現状と未来
岩崎真樹(国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科)
- S18-3 Responsive Neurostimulation (RNS) による新しいてんかん外科治療
稲次基希(東京科学大学脳神経外科)
- S18-4 脳深部刺激療法 (DBS) による小児運動異常症治療の現在と未来
熊田聡子(東京都立神経病院神経小児科)

日本遺伝子細胞治療学会 (JSGCT)・日本小児神経学会 (JSCN) 連携シンポジウム (S163)

日本遺伝子細胞治療学会 (JSGCT)・日本小児神経学会 (JSCN) 連携シンポジウム：遺伝子治療のこれから

6月4日(木) 16:35~18:05 第2会場

座長 久米晃啓(自治医科大学附属病院臨床研究センター)
小林博司(東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター遺伝子治療研究部小児科)

- JS-1 グルコーストランスポーター1欠損症に対する遺伝子治療開発
小坂 仁(自治医科大学医学部小児科)
- JS-2 血液脳関門通過型酵素によるライソゾーム病中枢神経症状に対する in vivo 遺伝子治療
松島小貴(東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター遺伝子治療研究部)
- JS-3 デュシェンヌ型筋ジストロフィーにおける遺伝子治療と今後の治療開発
小牧宏文(国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター)
- JS-4 遺伝子治療の適正普及を目指した JSCN と JSGCT の連携活動：進捗報告
米満吉和(九州大学大学院薬学研究院, 日本遺伝子細胞治療学会)

委員会主催セミナー (S166)

委員会主催セミナー 1: 課題検討・長期計画委員会 小児神経学の未来を語る —若手×エキスパートの出会いの場—

6月4日(木) 16:35~18:05 第4会場

- 座長 福與なおみ (東北医科薬科大学小児科)
 小林 悠 (国立病院機構西新潟中央病院神経小児科)
 演者 夏目 淳 (名古屋大学大学院医学系研究科障害児(者)医療学寄附講座)
 石原尚子 (藤田医科大学小児科)
 早川 格 (国立成育医療研究センター神経内科)
 三牧正和 (帝京大学小児科)

委員会主催セミナー 2: 小慢難病委員会 神経難病と患者会の役割について

6月4日(木) 16:35~18:05 第6会場

- 座長 阿部裕一 (国立成育医療研究センター神経内科)
 伊藤 進 (東京女子医科大学小児科)
 CS2-1 認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワークのご紹介
 平岡まなみ (難病のこども支援全国ネットワーク, TS つばさの会)
 CS2-2 TS つばさの会・日本結節性硬化症学会ファミリーネットの活動と専門家の関わりについて
 阿部裕一 (国立成育医療研究センター神経内科), 武井 愛 (日本結節性硬化症学会ファミリーネット委員会)
 CS2-3 ドラベ症候群患者家族会の活動と専門家の関わりについて
 伊藤 進 (東京女子医科大学小児科, ドラベ症候群患者家族会), 黒岩ルビー (ドラベ症候群患者家族会)
 CS2-4 無痛無汗症の会「トゥモロウ」の活動と専門家の関わりについて
 久保田雅也 (島田療育センター小児科), 原 千帆 (NPO法人無痛無汗症の会「トゥモロウ」)

委員会主催セミナー 3: 災害対策委員会 障がいのある子どもたちのための個別避難計画作成推進プロジェクト

6月4日(木) 10:10~11:40 第7会場

- 座長 竹島泰弘 (兵庫医科大学小児科)
 赤坂真奈美 (岩手医科大学小児科)
 CS3-1 要支援者の方は個別避難計画を作りましょう! —「自らの命は自ら守る」意識の徹底を—
 水野忠幸 (内閣府政策統括官防災担当付)
 CS3-2 神戸市における行政連携による在宅重症心身障害児者の個別避難計画作成 —Web入力システム導入による効率化と課題
 河崎洋子 (神戸医療福祉センターひだまり)
 CS3-3 医療的ケア児・者等の避難訓練の取組について —災害時の支援体制構築を目指して—
 武田暁子 (岩手県一関市健康こども部こども家庭課), 鈴木園恵 (岩手県一関市健康こども部こども家庭課)
 CS3-4 在宅医と家族が寄り添い考える個別避難計画
 高田 献 (玉穂ふれあい診療所)

委員会主催セミナー 4: 共同研究推進委員会 日本発世界へ! 治療法開発研究の最前線

6月4日(木) 16:35~18:05 第7会場

- 座長 遠山 潤 (国立病院機構西新潟中央病院神経小児科)
 池田(谷口)真理子 (高知大学医学部小児思春期医学講座)
 CS4-1 神経発達を守るマイクログリア
 小山隆太 (国立精神・神経医療研究センター)
 CS4-2 治療・予防への応用に向けたミトコンドリアオートファジー研究
 神吉智文 (九州大学大学院医学研究院細胞生理学分野)
 CS4-3 NGLY1欠損症 —その病態メカニズムと治療戦略—
 鈴木 匡 (理化学研究所開拓研究所)
 CS4-4 レット症候群の治療法開発の現状と展望
 高橋 悟 (旭川医科大学小児科)

委員会主催セミナー 5：脳と発達編集委員会, B&D 編集委員会, B&D Case Reports 編集委員会 論文のすすめ 2026

6月4日(木) 16:35~18:05 第8会場

座長 森本昌史(京都府立医科大学医学部看護学科)

加賀佳美(山梨大学医学部小児科)

CS5-1 論文のすすめ 2026

加賀佳美(山梨大学医学部小児科)

CS5-2 初心者の症例報告の書き方~専門医を目指す先生へ

高野亨子(信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センター)

CS5-3 研究論文(原著)に挑戦しようー普段の心づもりからドラフト作成までー

塩濱 直(国際医療福祉大学医学部小児科学)

CS5-4 初めて査読をする人のためにー基本編ー

藤井克則(長野県立こども病院教育研修センター)

CS5-5 これからの論文投稿:生成 AI の活用法と注意点

松井健太郎(国立精神・神経医療研究センター病院臨床検査部)

委員会主催セミナー 6：医療安全委員会

医療事故に学ぶー医療現場と在宅におけるアラームにまつわるインシデント・アクシデントー

6月4日(木) 10:10~11:40 第9会場

座長 下川尚子(久留米大学医学部脳神経外科学講座)

伊藤 進(東京女子医科大学小児科)

CS6-1 制度施行 11 年目を迎えた医療事故調査制度の課題と展望

宮田哲郎(一般社団法人日本医療安全調査機構)

CS6-2 病棟における医療機器アラーム関連医療事故の実態と要因分析

宮田理英(東京北医療センター小児科)

CS6-3 在宅人工呼吸器のアラームに関連した医療事故に関する調査

里 龍晴(長崎大学病院小児科)

CS6-4 本邦における ACTH 療法の管理等についての実態調査:ワーキンググループ報告

伊藤 進

(東京女子医科大学小児科, 日本小児神経学会医療安全委員会 ACTH 療法を安全に行うための提言作成ワーキンググループ, 日本小児神経学会医療安全委員会)

委員会主催セミナー 7：社会保険・薬事委員会 社会保険小委員会

適正治療・標準治療の推進ー保険収載拡大・獲得にむけてー

6月4日(木) 16:35~18:05 第9会場

座長 宮田理英(東京北医療センター小児科)

日暮憲道(武蔵小杉小児科・てんかんクリニック小児科)

CS7-1 小児急性脳症における体温管理療法

稲葉雄二(長野県立こども病院神経小児科)

CS7-2 排痰補助装置治療の保険収載に向けての課題

田沼直之(東京都立府中療育センター小児科)

CS7-3 広がる遺伝子治療:適正使用への課題

水野朋子(東京科学大学小児科)

CS7-4 ガイドラインから見た自閉スペクトラム症診療の現在地

井上 建(獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター)

委員会主催セミナー 8：アジアの若手小児神経科医師による相互コミュニケーションプロジェクト (YCNCP)

6月5日(金) 16:40~18:10 第4会場

座長 Ganeshwaran Hitoshi Mochida (Division of Genetics and Genomics, Boston Children's Hospital, USA)

Hiroya Nishida (Department of Brain & Neurosciences, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science)

CS8-1 A Physician's Experience and Perspective on Philippine Healthcare

Michelle G. Sy

(Section of Child Neurology and Neurodevelopmental Medicine, Department of Pediatrics, University of Santo Tomas Hospital, Philippines)

CS8-2 Healthcare System in Kazakhstan: A Physician's Perspective

Nazira Dyussebek (Perinatology and Pediatric Cardiac Surgery Center., Almaty, Kazakhstan)

CS8-3 Molecular and clinical profile of epilepsy children with first generation anti seizure medications therapy

Urfianty Said (Hasanuddin University, Makassar, Indonesia)

CS8-4 Research Development in Young Pediatric Neurologists within Japan's Healthcare System

Yurika Toga (The Jikei University Katsushika Medical Center), Takato Akiba (Department of Pediatrics and Adolescent Medicine, Juntendo University Graduate School of Medicine)

委員会主催セミナー 9：社会活動委員会・移行期医療マニュアル作成 WG 小児神経疾患の成人移行期医療キックオフ

6月5日(金) 16:40~18:10 第9会場

座長 井上貴仁(福岡大学病院総合周産期母子医療センター)

宮本雄策(聖マリアンナ医科大学小児科, 川崎市立多摩病院小児科)

CS9-1 地方大学病院における移行期医療：急変時入院の現状と課題

赤坂真奈美(岩手医科大学医学部小児科)

CS9-2 小児病院における成人移行とその課題

阿部裕一(国立成育医療研究センター神経内科)

CS9-3 地域で引き受ける立場から見た移行期医療 —「移行」が目的化する現場の困難—

大瀧 潮

(社会福祉法人大同宏緑会重心施設にじいろのいえ, 医療法人かがやき総合在宅医療クリニック名駅)

CS9-4 小児神経疾患の成人移行期医療—キックオフ以前に考えておくべきこと：脳神経内科の立場から

伊佐早健司(聖マリアンナ医科大学脳神経内科)

CS9-5 小児神経学会としての啓発活動

宮本雄策(聖マリアンナ医科大学小児科, 川崎市立多摩病院小児科)

委員会主催セミナー 10：社会保険薬事委員会 薬事小委員会**医薬品開発(特にシーズ段階)に関する課題(基礎研究・シーズの臨床応用のギャップ)**

6月6日(土) 10:20~11:50 第2会場

座長 小牧宏文

(国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター/脳神経小児科)

石垣景子(東京女子医科大学小児科)

CS10-1 シーズを生かす力 —医薬品開発の現場から見える課題と展望—

池田(谷口)真理子(高知大学医学部小児科)

CS10-2 稀少難病開発におけるアカデミアの課題と支援体制：承認を超えた製造・供給体制の確立

村松一洋(自治医科大学小児科)

CS10-3 創薬における課題と対応 —シーズ段階を中心に—

羽野嘉朗(厚生労働省)

CS10-4 創薬プロダクトの考え方・育て方 —創薬エコシステムの立場から—

和田道彦(ニュートンバイオキャピタルパートナーズ)

CS10-5 基礎研究・シーズの臨床応用のギャップをどう超える 産官学患でできること 知っておくこと

中村治雅(国立精神・神経医療研究センター)

委員会主催セミナー 11：社会活動委員会 不登校に対して医療でできること

6月6日(土) 10:20~11:50 第3会場

座長 内川英紀(東千葉メディカルセンター小児科)

橋 雅弥(大阪大学連合小児発達学研究所)

CS11-1 不登校の現状

田中真也(栃木県教育委員会事務局教育政策課)

CS11-2 家庭の中で起きている不登校のリアル(母親の実体験から見えた支援の課題)

高実子麻衣子(栃木登校拒否を考える会)

CS11-3 不登校と神経発達症

橋 雅弥(大阪大学大学院連合小児発達学研究所, 大阪大学医学部小児科)

CS11-4 体とこころの学校健診

土生川千珠(独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター)

CS11-5 児童精神科の立場から不登校を再考する

榎屋二郎(東京医科大学精神医学分野, 東京医科大学病院こどものこころ診療部門)

委員会主催セミナー 12：SMA スクリーニング WG NBS 実証事業の今後

6月6日(土) 10:20~11:50 第8会場

座長 阿部裕一(国立成育医療研究センター神経内科)

荒川玲子(国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター臨床ゲノム科)

CS12-1 新生児マススクリーニング検査に関する実証事業の現状について

三宅温子(こども家庭庁成育局母子保健課)

CS12-2 新生児マススクリーニングをすべての人に有益なものとするために：CPT2欠損症での経験から

但馬 剛(国立成育医療研究センター研究所マススクリーニング研究室)

CS12-3 重症原発性免疫不全症に対する新生児マススクリーニング

今井耕輔(防衛医科大学校小児科)

CS12-4 脊髄性筋萎縮症の新生児スクリーニングの現在と今後について

木水友一(大阪母子医療センター脳神経内科)

共同研究支援委員会主催ワークショップ(S200)

共同研究支援委員会主催ワークショップ：共同研究推進委員会主催 若手研究支援ワークショップ

6月6日(土) 14:00~16:00 第4会場

- 座長 吉田健司 (京都大学大学院医学研究科発達小児科学)
大久保真理子 (国立精神・神経医療研究センターメディカルゲノムセンターゲノム診療開発部)
- メンター 江川 潔 (北海道大学)
植松有里佳 (東北大学)
倉橋宏和 (愛知医科大学)
才津浩智 (浜松医科大学)
栗野宏之 (鳥取大学)
池田(谷口)真理子 (高知大学)
李 知子 (兵庫医科大学)
吉田健司 (京都大学)
村松一洋 (自治医科大学)
大久保真理子 (国立精神・神経医療研究センター)
小野智憲 (長崎医療センター)
竹内章人 (岡山医療センター)
小島華林 (自治医科大学)
福與なおみ (東北医科薬科大学)
佐野史和 (山梨大学)
石垣景子 (東京女子医科大学)
葛西真梨子 (東京都医学総合研究所)
岡西 徹 (鳥取大学)
宮本洋輔 (京都府立医科大学)

災害対策委員会主催研修会 (S201)

災害対策委員会主催研修会：医療的ケア児等災害対策研修会

6月3日(水) 15:00~17:00 第4会場

- 座長 末延聡一 (独立行政法人国立病院機構 (NHO) 西別府病院小児科)
中村裕子 (鳥取大学脳神経小児科学)
- ファシリテーター 富田 直 (東京都立小児総合医療センター在宅小児科)
長谷川龍志 (京都府立医科大学小児科)
田村 彰 (和歌山県立医科大学小児科)
河崎洋子 (神戸医療福祉センターひだまり)
池田俊郎 (まつおか小児科・いけだ小児神経内科)

市民公開講座 (S202)

市民公開講座：こどもまんなか×家族まるごと支える社会のために

6月6日(土) 14:00~16:00 第1会場

- 座長 高橋昭彦 (ひばりクリニック小児科/認定特定非営利活動法人うりずん)
- CO-1 とちぎこどもまんなか社会
坂内大樹 (栃木県保健福祉部こども政策課)
- CO-2 医療的ケア児・きょうだい・家族と共に
高橋昭彦 (ひばりクリニック小児科/認定特定非営利活動法人うりずん)
- CO-3 地域でつなぐ、声にならないSOS —子どもたちに切れ目のない居場所を—
増田卓哉 (自治医科大学小児科学/特例認定NPO法人そらいろコアラ)
- CO-4 ごちゃまぜで挑む、支え合いが循環する地域共生社会
濱野将行 (一般社団法人えんがお)

実践教育セミナー (S205)

実践教育セミナー 1: 神経診察を極める!! —こどもの病歴聴取と身体診察を学ぶワークショップ (HAPPY) をやってみよう—

6月3日 (水) 15:00~17:00 第2会場

- 座長 早川 格 (国立成育医療研究センター神経内科)
 小橋孝介 (鴨川市立国保病院総合診療科)
- ファシリテーター 大野綾香 (広島大学病院小児科)
 大橋瑛梨 (東京都医学総合研究所)
 落合健太 (東京都立小児総合医療センター)
 金森啓太 (岩手県立療育センター小児科)
 川井未知子 (瀬川小児神経学クリニック)
 小林揚子 (国立精神・神経医療研究センター脳神経小児科)
 佐々木夏澄 (広島大学)
 田畑健士郎 (福島県立医科大学小児科)
 永井由紗 (公立昭和病院)
 橋本梨沙 (国立成育医療研究センター)
 前田真範 (和歌山県立医科大学小児科)
 室伏佑香 (名古屋市立大学)
 吉野 豪 (鳥取大学小児科)

実践教育セミナー 2: 小児科医のための神経画像 2026

6月3日 (水) 15:00~17:00 第3会場

- 座長 高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
 森 壘 (自治医科大学医学部放射線医学講座)
- PES2-1 小児神経画像診断におけるレントゲンサイン: その意義と実践的活用
 大場 洋 (日本大学医学部附属板橋病院放射線科)
- PES2-2 遺伝性脳小血管病と類縁疾患 —小児期に発症する疾患を中心に—
 榎園美香子 (東京都立小児総合医療センター放射線科)
- PES2-3 小児の脊髄・末梢神経疾患に対する画像診断
 横田 元 (千葉大学大学院医学研究院画像診断・放射線腫瘍学)
- PES2-4 症例から学ぶ小児神経画像診断
 松島理士 (東京慈恵会医科大学放射線医学講座)

実践教育セミナー 3: きょうの R ビギナーズ

6月3日 (水) 15:00~17:00 第5会場

- 座長 酒井康成 (九州大学小児科)
 實藤雅文 (佐賀大学小児科)
- チューター 酒井康成 (九州大学小児科)
 實藤雅文 (佐賀大学小児科)
 倉橋宏和 (愛知医科大学小児科)
 粟屋智就 (京都大学医学研究科附属総合解剖センター)
 大久保真理子 (国立精神・神経医療研究センターメディカルゲノムセンターゲノム診療開発部)
 栗野宏之 (鳥取大学研究推進機構研究基盤戦略センター)

実践教育セミナー 4: 第13回遺伝学実践教育セミナー (遺伝学的検査の結果を解釈する)

6月3日 (水) 15:00~17:00 第6会場

- 座長 岡崎哲也 (岡山大学病院臨床遺伝子診療科)
 吉田健司 (京都大学大学院医学研究科発達小児科学)
- チューター 白井宏直 (北里大学医学部小児科)
 和田敬仁 (ひだまりクリニック小児科)
 高野亨子 (信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センター)
 赤峰 哲 (九州大学病院小児科)
 チョンビンフィー (九州大学小児科)
 村松一洋 (自治医科大学小児科学)
 松本 歩 (自治医科大学心血管遺伝学研究部/小児科)
 東 慶輝 (愛知医科大学小児科)
 藤本真徳 (名古屋市立大学新生児・小児医学分野)
 石岡梨紗子 (名古屋市立大学病院小児科)
 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)

実践教育セミナー 5：臨床神経生理学から迫る神経疾患の様々な病態 —認知・行動・心理面との関連を中心に—

6月3日(水) 15:00~17:00 第7会場

座長 金村英秋(東邦大学医療センター佐倉病院小児科)

加賀佳美(山梨大学医学部小児科)

PES5-1 てんかん性突発波が及ぼすてんかん児の行動・心理面への影響

金村英秋(東邦大学医療センター佐倉病院小児科)

PES5-2 自閉スペクトラム症の認知機能を神経生理学から考える

藤田貴子(福岡大学病院小児科)

PES5-3 ADHDの病態解明に向けた神経生理学的アプローチ

石井佐綾香(国立病院機構甲府病院小児科, 山梨大学医学部小児科)

PES5-4 乳児てんかん性スパズム症候群の発作寛解例における発作再燃リスクを脳波から予想する—BASEDスコアを用いた検討—

岡西 徹(鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経小児科学分野)

実践教育セミナー 6：アクティブラーニングでマスターしよう 協働意思決定 ～話し合いのガイドライン改訂版から学ぶ「投げるな, 同志たれ」～

6月3日(水) 15:00~17:00 第8会場

座長 岡崎 伸(大阪市立総合医療センター)

笹月桃子(早稲田大学人間科学学術院)

演者 岡崎 伸(大阪市立総合医療センター)

荻野美恵子(東海大学)

山崎麻朱(順天堂大学医療看護学部)

笹月桃子(早稲田大学人間科学学術院)

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー 1 (共催：ヴィアトリス製薬合同会社)

6月4日(木) 12:00~13:00 第1会場

てんかん重積状態と病院前治療の新展開 —ジアゼパム点鼻液によるレスキュー治療—

座長 中川栄二(国立精神・神経医療研究センター)

LS1-1 てんかん重積状態における病院前治療の重要性 —ガイドラインから考える早期介入の意義—

西山将広(神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野)

LS1-2 ジアゼパム点鼻液の臨床的位置づけと今後への期待 —症例から考えるレスキュー治療の実際—

岡崎 伸(大阪市立総合医療センター小児脳神経・言語療法内科)

ランチョンセミナー 2 (共催：中外製薬株式会社)

6月4日(木) 12:00~13:00 第2会場

DMD診療の最新動向 —遺伝子治療を中心に—

座長 小牧宏文(国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター)

LS2-1 Duchenne型筋ジストロフィー治療の新時代 —遺伝子治療薬エレビジスへの期待と課題—

石垣景子(東京女子医科大学小児科学)

LS2-2 エレビジス投与の適切な実施に向けた多診療科連携と投与体制構築

本橋裕子(国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科)

ランチョンセミナー 3 (共催：Johnson & Johnson ヤンセンファーマ株式会社)

6月4日(木) 12:00~13:00 第4会場

座長 石崎優子(関西医科大学総合医療センター)

LS3 注意欠如多動症の児と家族を支える —ADHD病態の不均一性を見据えた理解と実践的アプローチ—

門田行史(自治医科大学)

ランチョンセミナー 4 (共催：藤本製薬株式会社)

6月4日(木) 12:00~13:00 第5会場

座長 稲葉雄二(長野県立こども病院)

LS4 脳髄黄色腫症 —早期診断が望まれる治療可能な代謝性神経疾患—

小山信吾(国立病院機構山形病院脳神経内科)

ランチョンセミナー 5 (共催：日本新薬株式会社)

6月4日(木) 12:00~13:00 第6会場

座長 夏目 淳(名古屋大学大学院医学系研究科障害児(者)医療学寄附講座)

LS5 Lennox-Gastaut 症候群の診断と最新の治療戦略 —フェンフルラミンの使用経験を踏まえて—

石原尚子(藤田医科大学医学部小児科学)

ランチョンセミナー 6 (共催：武田薬品工業株式会社)

6月4日(木) 12:00~13:00 第7会場

座長 星野恭子(医療法人社団昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック)

LS6 ADHD 薬物療法のコツ

広瀬宏之(横須賀市療育相談センター)

ランチョンセミナー 7 (共催：バイオジェン・ジャパン株式会社)

6月4日(木) 12:00~13:00 第8会場

小児 SMA の現在と展望 ~SMA 治療はどこまで進んだのか~

座長 齋藤加代子(東京女子医科大学)

LS7-1 木水友一(大阪母子医療センター脳神経内科)**LS7-2 佐久間悟(大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学)****ランチョンセミナー 8 (共催：第一三共株式会社)**

6月4日(木) 12:00~13:00 第9会場

座長 加藤光広(昭和大学医学部小児科学講座)

LS8 小児痙縮治療のロードマップ：長期視点で考える介入戦略

柏井洋文(東京都立小児総合医療センター)

ランチョンセミナー 9 (共催：塩野義製薬株式会社)

6月5日(金) 12:40~13:40 第1会場

座長 宮島 祐(東京家政大学かせい森のクリニック)

LS9 ADHD の子どもと家族を支える ~ペアレントトレーニングや保護者支援/プログラム医療機器の期待と課題~

石崎優子(関西医科大学総合医療センター小児科)

ランチョンセミナー 10 (共催：ノバルティス ファーマ株式会社)

6月5日(金) 12:40~13:40 第2会場

SMA 治療の課題とゾルゲンスマの最新のエビデンス

座長 山形崇倫(栃木県立リハビリテーションセンター)

小牧宏文(国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター)

LS10-1 SMA 治療における遺伝子治療の意義と役割

村松慎一(自治医科大学オープンイノベーションセンター神経遺伝子治療部門)

LS10-2 ゾルゲンスマの最新のエビデンスから考える今後の SMA 治療

齋藤加代子(東京女子医科大学)

ランチョンセミナー 11 (共催：日本新薬株式会社)

6月5日(金) 12:40~13:40 第4会場

DMD 診療の現場から考えるエクソンスキッピング療法の価値

座長 栗野宏之(鳥取大学研究推進機構研究基盤戦略センター)

LS11-1 当院で経験した同胞例におけるエクソンスキッピング治療について

丸山慎介(鹿児島大学病院小児科)

LS11-2 ビルトラルセンの安全性 -特定使用成績調査と自験例から-

李 知子(兵庫医科大学小児科学)

ランチョンセミナー 12 (共催：アミカス・セラピューティクス株式会社)

6月5日(金) 12:40~13:40 第5会場

座長 石垣景子(東京女子医科大学小児科学)

LS12 ポンベ病治療の新展開 ~より良い未来を目指して~

成田 綾(医誠会国際総合病院小児科/難病医療推進センター)

ランチョンセミナー 13 (共催：ノーベルファーマ株式会社/株式会社メディパルホールディングス)

6月5日(金) 12:40~13:40 第6会場

座長 三牧正和(帝京大学医学部小児科学講座)

LS13 生活習慣の確立の重要性 ~神経発達症の子どもへの就労のために~

横山浩之(かみのやま病院小児発達外来)

ランチョンセミナー 14 (共催：中外製薬株式会社)

6月5日(金) 12:40~13:40 第7会場

SMA-NBSにより変わる治療環境と新たな課題

座長 中村公俊(熊本大学大学院生命科学研究部小児科学講座)

LS14-1 脊髄性筋萎縮症治療戦略における経口低分子薬の立ち位置

荒川玲子(国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター臨床ゲノム科)

LS14-2 SMA診療における集学的な診療体制構築の重要性

木水友一(大阪母子医療センター脳神経内科)

ランチョンセミナー 15 (共催：リヴァノヴァ株式会社)

6月5日(金) 12:40~13:40 第8会場

最新データから読み解くVNS療法の有用性

座長 本田涼子(独立行政法人国立病院機構長崎医療センター小児科)

LS15-1 迷走神経刺激療法が小児てんかん治療にもたらすもの

福田光成(東京都立病院機構東京都立神経病院神経小児科)

LS15-2 最新の臨床データであるCORE-VNS Studyを踏まえた、VNS療法の適応

住友典子(NCNP病院国立精神・神経医療研究センター脳神経小児科)

ランチョンセミナー 16 (共催：ユーシービージャパン株式会社)

6月5日(金) 12:40~13:40 第9会場

精神的側面からみた思春期のてんかん患者の課題と対応のコツ

座長 金村英秋(東邦大学医療センター佐倉病院小児科)

LS16-1 小児科の視点から

岡崎 伸(大阪市立総合医療センター小児脳神経・言語療法内科)

LS16-2 精神科の視点から

渡邊さつき(横浜こころと脳波・てんかんのクリニック)

ランチョンセミナー 17 (共催：ノバルティス ファーマ株式会社)

6月6日(土) 12:40~13:40 第1会場

ゾルゲンスマ発売から6年の歩みとこれからのSMA治療

座長 下村英毅(兵庫医科大学医学部小児科学)

齊藤利雄(国立病院機構大阪刀根山医療センター小児神経内科)

LS17-1 ゾルゲンスマの経験から紐解く小児におけるSMA治療の変遷

木水友一(大阪母子医療センター脳神経内科)

LS17-2 ゾルゲンスマが変えたSMA治療のいま

荒川玲子(国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター臨床ゲノム科)

ランチョンセミナー 18 (共催：サノフィ株式会社)

6月6日(土) 12:40~13:40 第2会場

ポンペ病の診断と治療

座長 成田 綾(医誠会国際総合病院小児科・難病医療推進センター)

LS18-1 小林博司(東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター遺伝子治療研究部)

LS18-2 樋口真司(大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌・腎臓内科)

ランチョンセミナー 19 (共催：武田薬品工業株式会社 ジャパンメディカルオフィス)

6月6日(土) 12:40~13:40 第4会場

座長 高橋孝雄(新百合ヶ丘総合病院発達神経学センター)

LS19 小児神経科医によるADHD薬物療法の再考 ~子どもの困り感に寄り添う薬物療法の最大化をめざして~

荒木章子(札幌市子ども発達支援総合センター小児科)

ランチョンセミナー 20 (共催：バイオジェン・ジャパン株式会社)

6月6日(土) 12:40~13:40 第5会場

SMAにおける長期治療戦略とスピラザ高用量の位置づけ

座長 小牧宏文(国立精神・神経医療研究センター)

LS20-1 日齢8でヌシネルセンを導入したSMN2コピー数2のSMA児の6年間の臨床経過と

ヌシネルセン高用量への期待

颯佐かおり(埼玉医科大学)

LS20-2 SMA長期治療におけるヌシネルセン高用量の位置づけ

本橋裕子(国立精神・神経医療研究センター)

ランチョンセミナー 21 (共催：アジレント・テクノロジー株式会社)

6月6日(土) 12:40~13:40 第6会場

座長 山本俊至

(東京女子医科大学大学院医学研究科先端生命医科学系専攻遺伝子医学分野/ゲノム診療科)

- LS21 小児神経診療でマイクロアレイ染色体検査を使いこなそう
黒田友紀子 (神奈川県立こども医療センター 遺伝科)

ランチョンセミナー 22 (共催：Johnson & Johnson ヤンセンファーマ株式会社)

6月6日(土) 12:40~13:40 第7会場

座長 稲葉雄二 (長野県立こども病院)

- LS22 小児の重症筋無力症の特徴と新規治療薬 ~アイマービーによる持続的な症状コントロールを目指して~
石垣景子 (東京女子医科大学医学部小児科学)

ランチョンセミナー 23 (共催：JCRファーマ株式会社)

6月6日(土) 12:40~13:40 第8会場

座長 濱崎孝史 (大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学)

- LS23 神経代謝疾患 (ライソゾーム病) における発達評価の重要性
橘 雅弥 (大阪大学大学院連合小児発達学研究所)

ランチョンセミナー 24 (共催：クリニジェン株式会社)

6月6日(土) 12:40~13:40 第9会場

座長 菊池健二郎 (埼玉県立小児医療センター神経科/小児てんかんセンター)

- LS24 神経学的後遺症を防ぐためのてんかん重積状態治療：急性脳症も見据えて
西山将広
(神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野小児神経学・発達行動小児科学部門)

イブニングセミナー

イブニングセミナー (共催：エーザイ株式会社)

6月5日(金) 19:30~20:30 第4会場

座長 加藤光広 (昭和医科大学医学部小児科学講座/昭和医科大学病院てんかん診療センター)

- ES 小児てんかん症候群と治療戦略 —ベランパネルの可能性—
白石秀明 (獨協医科大学医学部小児科学)

共催シンポジウム

共催シンポジウム (共催：中外製薬株式会社)

6月5日(金) 16:40~18:40 第7会場

DMT時代の新課題 SMA 早期側弯を専門領域の融合で超えて行こう!

座長 小牧宏文 (国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター)

荒川玲子 (国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター臨床ゲノム科)

- KS-1 神経筋疾患の早期側弯症
中村直行 (神奈川県立こども医療センター)
- KS-2 ギプス・コルセットによる側弯症治療
野原亜也斗 (JCHO 東京新宿メディカルセンター/のはら整形外科脊椎クリニック)
- KS-3 DMT時代の側弯症
松本寛子 (Boston Children's Hospital/Harvard Medical School Orthopedic Surgery)
- KS-4 側弯症管理における呼吸障害への配慮
三浦利彦 (独立行政法人国立病院機構北海道医療センター)
- KS-5 リハビリテーションの視点からみた側弯症管理
片山 望 (独立行政法人国立病院機構仙台西多賀病院リハビリテーション科)
- KS-6 個別化治療への挑戦
松本葉子 (JCHO 東京新宿メディカルセンター脊椎脊髄外科)

関連研究会

関連研究会 1：第 17 回子どもの眠り研究会

6月5日(金) 19:30~21:30 第2会場

座長 長尾ゆり(昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック)
呉 宗憲(順天堂大学医学部附属浦安病院小児科)

【一般演題】

- RS1-1 体位性頻脈症候群小児における睡眠中の自律神経調節の特徴 一心拍変動ネットワーク解析による検討
岩原可名人(順天堂大学医学部小児科学講座)
- RS1-2 睡眠医療からの起立性調節障害への治療が広まらない要因の検討
岩渕恵美(茨城県立こども病院, 茨城県立こころの医療センター)
- RS1-3 2023年に睡眠センター小児科を受診した12-15歳の61名の主訴と診断
加藤久美(太田睡眠科学センター)
- RS1-4 福井愛育病院での2023年7月開始以降のMSLT(反復睡眠潜時試験)のまとめ
石原靖紀(福井愛育病院小児科)
- RS1-5 思春期の睡眠習慣に幼少期からの親の睡眠リテラシーが影響する可能性
神山 潤(東京ベイ浦安市川医療センター)

【特別講演】

- 座長 福水道郎(東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科)
- RS1-6 思春期における睡眠と休養
大塚雄一郎(日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野)

【総合討論】中高生の睡眠の問題をどう考えるか

関連研究会 2：小児神経の倫理を語らう会第4回年次集会

6月5日(金) 19:30~21:30 第5会場

座長 岡崎 伸(大阪市立総合医療センター小児脳神経・言語療法内科)
笹月桃子(早稲田大学人間科学学術院)

- RS2-1 新津健裕(埼玉県立小児医療センター集中治療科)
- RS2-2 山崎麻朱(順天堂大学医療看護学部)
- RS2-3 板井孝彦郎
(宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科医科学獣医科学専攻生命倫理コーディネーター高度職業人養成コース)
- RS2-4 里 龍晴(長崎大学小児科)
- RS2-5 松岡真里(三重大学看護学部)
- RS2-6 植竹日奈(ケ・セラ社会福祉士事務所)

関連研究会 3：第11回小児免疫性神経筋疾患研究会(MG/CIDP研究会)

6月5日(金) 19:30~21:30 第6会場

【特別講演】

- 座長 藤井克則(長野県立こども病院総合小児科)
- RS3-特1 gMG治療update ~アイマービーによる持続的症狀コントロールの可能性~
鵜沢顕之(千葉大学大学院脳神経内科)
(Johnson & Johnson ヤンセンファーマ株式会社主催・小児免疫性神経筋疾患研究会後援)

【一般講演】

- 座長 佐藤孝俊(東京女子医科大学小児科)
本林光雄(長野県立こども病院神経小児科)
- RS3-1 思春期発症全身型重症筋無力症の治療方針 ~当院でのニボカリマブ使用経験~
荒川篤康(群馬大学医学部附属病院小児科)
- RS3-2 1型糖尿病を伴う難治性全身型重症筋無力症の1例
森脇幸穂(倉敷中央病院小児科)
- RS3-3 ステロイド・タクロリムス・アザチオプリンでも眼症状の再発を繰り返す小児発症AChR陽性全身型重症筋無力症の14歳女児
吉野 豪(鳥取大学病院 脳神経小児科)
- RS3-4 外傷後の片側の眼瞼下垂から眼球運動障害を呈して診断に苦慮した全身型重症筋無力症の5歳児
宇田川紀子(聖マリアンナ医科大学小児科)

日本小児神経学会 2026 年度優秀論文賞授賞式, ミニ講演会

6 月 5 日 (金) 13:50~14:20 第 1 会場

座長 才津浩智 (浜松医科大学医学部医学科医化学講座)

演者 大橋瑛梨 (国立成育医療研究センター神経内科)

梶原健太 (九州大学病院小児科)

一般演題（口演）優秀演題賞セッション

6月4日（木）9:00～10:00 第1会場

座長 酒井康成（九州大学小児科）

岡崎 伸（大阪市立総合医療センター小児脳神経・言語療法内科）

BO-01	山野暁生	京都府立医科大学小児科	早産児における拡散テンソル画像の修正満期から修正1歳の経時的変化 脳梁膨大部のFA値の変化率は神経発達後に関連する
BO-02	佐々木彩恵子	京都大学大学院医学専攻科小児科	7テスラMRIを用いた神経線維腫症1型における視床微細構造と認知機能の関連解析
BO-03	谷河純平	大阪大学大学院医学系研究科小児科	先天性GPI欠損症に対する活性型葉酸（フォリン酸）補充療法
BO-04	九鬼一郎	大阪市立総合医療センター小児脳神経・言語療法内科	ミダゾラム口腔用液に関する日常生活現場での使用実態調査
BO-05	大久保真理子	国立健康危機管理機構国立国際医療研究 所疾患ゲノム研究部	SNUPN 遺伝子変異によるスプライシング異常を原因とする新規小脳失調症
BO-06	塩浜 直	千葉大学大学院医学研究院小児病態学	高深度プロテオーム解析を用いたCDKL5異常症における病勢マーカーの探索

一般演題（口演）若手優秀演題賞セッション

6月5日（金）9:10～10:10 第1会場

座長 藤井克則（長野県立こども病院総合小児科）

中村和幸（山形大学医学部小児科）

YBO-01	沼本真吾	聖隷浜松病院小児神経科	小児および成人もやもや病における虚血性病変分布の比較
YBO-02	川口将宏	名古屋大学医学部附属病院小児科	DTI-ALPS法を用いたデュシェンヌおよびベッカー型筋ジストロフィー患者のグリンパティック機能の評価
YBO-03	橋本実沙	名古屋大学大学院医学系研究科小児科	神経線維腫症1型の小児における脳体積発達とFASI（Focal Areas of Signal Intensity）の関連
YBO-04	奥村安寿子	広島大学大学院人間社会科学研究科	対面コホート調査に基づく読み書き困難児の発達後（2）：日本語から英語へ
YBO-05	澤田大輔	千葉大学医学部附属病院小児科	遺伝性早老症コケイン症候群由来iPS細胞を用いたサルコペニアの病態解明
YBO-06	杉山 諒	国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科	Collagen VI-related dystrophies における不整脈の表現型

一般演題 (口演) 1: 末梢神経・筋①

6月4日(木) 9:00~10:00 第2会場

座長 三牧正和 (帝京大学医学部小児科)
石山昭彦 (東京都立神経病院神経小児科)

O1-01	佐藤孝俊	東京女子医科大学小児科	福山型先天性筋ジストロフィーに対するステロイド内服, 非対照・非盲検・多施設共同第2相医師主導治験
O1-02	荒井 篤	国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科	デュシェンヌ型筋ジストロフィーの歩行分類毎の筋電図の特徴と歩行戦略
O1-03	丸山慎介	鹿児島大学大学院小児科	Williams 症候群に合併した顔肩甲上腕型筋ジストロフィーの早期発症を示唆する1例
O1-04	小牧宏文	国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター	Delandistrogene moxeparovec 投与後の DMD 患者における急性肝障害の軽減と管理: エキスパートの見解
O1-05	池田真理子	高知大学医学部小児思春期医学講座	福山型筋ジストロフィーの尿由来細胞を用いた疾患モデル化
O1-06	徳間紀大	神奈川県立こども医療センター神経内科	当院における小児期発症の Charcot-Marie-Tooth 病の臨床的特徴

一般演題 (口演) 2: 末梢神経・筋②

6月4日(木) 9:00~10:00 第3会場

座長 福田冬季子 (浜松医科大学浜松成育医療学講座)
石垣景子 (東京女子医科大学小児科)

O2-01	庄司理以沙	国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科	当科におけるデュシェンヌ型筋ジストロフィー患者に対する向精神薬使用実態と心伝導障害への影響の検討
O2-02	石黒久美子	東京女子医科大学小児科	福山型先天性筋ジストロフィー患者におけるパルボウイルス B19 感染後の筋力低下に関する検討
O2-03	渡邊浩太郎	東京都立神経病院神経小児科	当院で診療した小児 CIDP 11 例の新分類と治療予後についての検討—ケースシリーズ
O2-04	真野尚道	国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科	Duchenne 型筋ジストロフィーを有する日本人小児患者の筋逸脱酵素の年齢別分布—後方視的単施設研究
O2-05	七字美延	東京女子医科大学大学院小児科学	急激に進行した肝内胆汁うっ滞型肝障害により死亡した X 連鎖性ミオチューブラーミオパチーの男児例
O2-06	谷口直子	兵庫医科大学病院小児科	当院における Duchenne 型筋ジストロフィーの移行期医療の現状と課題

一般演題 (口演) 3: 遺伝・遺伝子異常①

6月4日(木) 9:00~10:00 第4会場

座長 山本俊至 (東京女子医科大学ゲノム診療科)
岡崎哲也 (岡山大学学術研究院医歯薬学域臨床遺伝子医療学)

O3-01	乾 健彦	宮城県立こども病院	周期性嘔吐症プラスと診断された PNPT1 バリエント症例
O3-02	坊 亮輔	神戸大学医学部附属病院内科系講座小児科	Long PCR 後に MLPA 解析で SMN1 エクソン 1 欠失を同定した脊髄性筋萎縮症の一例
O3-03	藤本真徳	名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野	クロモソプシスを伴う複雑な染色体構造異常に対するオプティカルゲノムマッピングの有用性
O3-04	岡本伸彦	大阪母子医療センター遺伝診療科	希少未診断疾患プロジェクトにおいて多く診断される神経発達障害
O3-05	竹澤祐介	東北大学小児科	脳性麻痺様症例の遺伝学的背景: 当院で遺伝学的解析を行なった 73 症例の病型と MRICS の相関
O3-06	竹内敦子	神戸常盤大学保健科学部	GMPPB ミスセンス変異タンパクは細胞内で凝集体を形成する

一般演題 (口演) 4: 神経生理 (脳波, 筋電図, 脳磁図)

6月4日 (木) 9:00~10:00 第5会場

座長 白石秀明 (獨協医科大学小児科学)
 本田涼子 (国立病院機構長崎医療センター小児科)

O4-01	太田健人	鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科	乳児てんかん性スパズム症候群の発症後早期の fast sleep spindle は発達転帰の予測因子となり得る
O4-02	植松 貢	東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野	発作間欠時の spike 関連 ripple を用いたてんかん外科治療成績について
O4-03	岩谷祥子	大阪大学大学院連合小児発達学研究所	幼児期早期の顔認知に対する脳活動と社会性発達
O4-04	大庭 梓	埼玉県立小児医療センター神経科	乳児てんかん性スパズム症候群に対する ACTH 療法と Vigabatrin による BASED スコアの変化の比較
O4-05	相原健志	国立成育医療研究センター救急診療部	小児救急外来のけいれんまたは意識障害患者における簡易脳波測定の実装実態と臨床経過: 単施設後ろ向き研究
O4-06	西岡和輝	順天堂大学脳神経外科	MRI 陰性 FCD type I 症例に対する発作時 phase amplitude coupling 解析—症例検討—

一般演題 (口演) 5: 発達, 睡眠障害, 自律神経・頭痛

6月4日 (木) 9:00~10:00 第6会場

座長 永光信一郎 (福岡大学小児科)
 後藤知英 (神奈川県立こども医療センター神経内科)

O5-01	石井和嘉子	日本大学医学部小児科	小児の起立性調節障害患者における 16S rRNA 遺伝子アンプリコンシーケンス解析を用いた腸内細菌叢の検討
O5-02	末宗和樹	神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科	COVID-19 の流行が子どもの発達と養育環境に与えた影響: 神戸市 3 歳児健診における 7 年間の解析
O5-03	長尾ゆり	昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック	神経発達症に合併する小児むずむず脚症候群 (RLS) に対するメラトニン製剤 (MLT) の効果
O5-04	松井亮仁	鳥取県立厚生病院小児科	心理的要因が関連した薬剤抵抗性の憤怒けいれんの 1 例
O5-05	柏木 充	市立ひらかた病院小児科	協調運動と知的・認知機能の関連性について
O5-06	宮本 健	浜松医療センター小児科	5 歳児健診体制構築に向けた浜松市のとりくみ (第 2 報)

一般演題 (口演) 6: てんかん: 診断・遺伝子, その他

6月4日 (木) 9:00~10:00 第7会場

座長 福田光成 (東京都立神経病院)
 日暮憲道 (武蔵小杉小児科・てんかんクリニック)

O6-01	福山哲広	信州大学医学部小児科	PCDH19 関連てんかんの移行期支援の課題についての検討
O6-02	上原 悠	鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科	進行性ミオクローヌスてんかん様の経過をとり巨大大体性感覚誘発電位を認めなかった TBC1D24 遺伝子関連てんかんの 1 例
O6-03	鈴木皓晴	順天堂大学脳神経外科	結節性硬化症におけるてんかん放電の結節間伝播: スペクトルパワー解析による報告
O6-04	増田洋亮	筑波大学医学医療系脳神経外科	特発性全般てんかんに対するベランパネル初回単剤治療 前向き介入研究中間報告
O6-05	柏村晃久	東北医科薬科大学医学部	小児欠神てんかんの臨床経過と予後
O6-06	倉橋宏和	愛知医科大学医学部小児科	本邦における PCDH19 群発てんかんの実態

一般演題 (口演) 7: 急性脳炎・脳症①

6月4日(木) 9:00~10:00 第8会場

座長 今高城治 (獨協医科大学小児科学)

早川 格 (国立成育医療研究センター神経内科)

07-01	齋藤幸穂	東京都立小児総合医療センター総合診療科	ビタミン B1, ビタミン B6, L-カルニチン投与によるけいれん重積型脳症の発症予防と神経学的予後改善効果
07-02	星野 愛	東京都立神経病院神経小児科	小児急性壊死性脳症 48 例の臨床的調査研究
07-03	山口 宏	神戸大学大学院医学研究科小児科	有熱性てんかん重積・急性脳症を対象とした疾患関連遺伝子探索
07-04	相馬健人	神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科	小児有熱性けいれん重積に対する早期抗発作薬投与は昏睡療法導入率を低下させる
07-05	川嶋有朋	宮城県立こども病院	年齢別クレアチニン基準値を用いた新しい急性脳症予測スコアの検討
07-06	落合健太	東京都立小児総合医療センター神経内科	TBIRD 二相目の特徴: cEEG8 例の後方視的検討

一般演題 (口演) 8: 先天異常, 神経皮膚症候群

6月4日(木) 9:00~10:00 第9会場

座長 新井田 要 (金沢医科大学病院ゲノムセンター)

松本 歩 (自治医科大学心血管遺伝学研究部)

08-01	林 深	愛知県医療療育総合センター発達障害研究所遺伝子医療研究部	塩基配列依存的に蛋白発現低下と小脳低形成をもたらす新規 EXOSC2 変異の解析: その「ミスセンス変異」は本当にミスセンス?
08-02	浜本麻希	大阪市立総合医療センター小児脳神経・言語療法内科	神経線維腫症 1 型患者におけるセルメチニブ硫酸塩投与の安全性と有効性の検討
08-03	山岸裕和	自治医科大学小児科	当院における結節性硬化症患者の成人移行の状況
08-04	松尾宗明	佐賀大学医学部小児科	エベロリムス治療中の結節性硬化症における免疫能と安全性について
08-05	奥村彰久	愛知医科大学医学部小児科	乳腺悪性葉状腫瘍を発症した神経線維腫症 1 型の 1 例
08-06	玉田智子	広島市立舟入市民病院小児科	PFAFH1B1 (LIS1) を含む 17p13.3 領域のモザイク欠失を認めた前頭優位滑脳症の一例

一般演題 (口演) 9: 末梢神経・筋③

6月5日(金) 9:10~10:10 第2会場

座長 佐久間 悟 (大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学)

竹下絵理 (国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科)

09-01	佐古育美	国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科	Non-5q 脊髄性筋萎縮症の遺伝子別下肢筋 MRI の特徴
09-02	久保田一生	岐阜大学大学院医学系研究科小児科	岐阜県における脊髄性筋萎縮症に対する拡大新生児マススクリーニングの状況
09-03	牛田英里	桑名市総合医療センター小児科	Duchenne 型筋ジストロフィーを合併した Turner 症候群の 6 歳女児における経口ステロイドおよび成長ホルモン補充の運動機能への効果
09-04	小川恵梨	慶應義塾大学医学部小児科	HAL 小型モデルを用いた脊髄性筋萎縮症 1 型児へのリハビリテーション導入経験
09-05	颯佐かおり	埼玉医科大学病院小児科	4 歳時にエクソン 53 スキッピング治療を開始したデュシェンヌ型筋ジストロフィー児の治療経過
09-06	石垣景子	東京女子医科大学医学部小児科	EMBARK Part 1 3 年および Part 2 2 年データ: DMD における delandistrogene moxeparvec の有効性および安全性

一般演題 (口演) 10: 自己免疫性脳炎, 感染, 免疫

6月5日 (金) 9:10~10:10 第3会場

座長 是松聖悟 (埼玉医科大学総合医療センター小児科)
佐久間 啓 (東京都医学総合研究所臨床医学研究分野)

O10-01	石垣景子	東京女子医科大学小児科	Medical Data Vision (MDV) 保険者データベースを用いた小児期発症重症筋無力症 (MG) における診断・治療状況の解析
O10-02	岸 崇之	東京女子医科大学小児科	小児期発症の抗 MuSK 抗体陽性重症筋無力症の臨床的特徴: 全国アンケート調査結果
O10-03	丸谷健太郎	福岡市立こども病院小児神経科	小児における FilmArray 髄膜炎/脳炎パネルの有効性
O10-04	上野雄司	九州大学病院小児科	小児 Mycoplasma pneumoniae 感染症関連急性脳炎のサイトカイン解析
O10-05	坂田雄祐	横浜市立大学附属市民総合医療センター	全身型重症筋無力症に先行して抗 GQ1b 抗体症候群を呈した 10 歳男児例
O10-06	佐々木夏澄	広島大学病院小児科	小児期発症重症筋無力症の治療経験と tacrolimus 療法の有効性

一般演題 (口演) 11: 遺伝・遺伝子異常②

6月5日 (金) 9:10~10:10 第4会場

座長 高橋 悟 (旭川医科大学小児科)
里 龍晴 (長崎大学病院)

O11-01	田畑健士郎	国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科	TMEM106B 関連髄鞘形成不全症 (HLD16) における新規変異 (p. Asp252His) の臨床学的・蛋白構造学的検討
O11-02	平松泰好	NHO 静岡てんかん・神経医療センター小児科	ラモトリギン・ゾニサミド併用療法で長期に発作抑制できている WDR45 関連神経変性症の 2 症例
O11-03	柳原恵子	大阪母子医療センター脳神経内科	Angelman 症候群患者における臨床像の検討
O11-04	有坂敦子	東京都立墨東病院小児科	AIFM1 遺伝子の新規変異を有するミトコンドリア脳症の 5 歳児例
O11-05	沼澤佑子	慶應義塾大学医学部小児科	ZTK 症候群: 先天性血管拡張性大理石様皮斑プラスの一表現型としての可能性
O11-06	平出拓也	浜松医科大学小児科	エクソーム未診断例から同定された RNU4-2 遺伝子バリエーションによる ReNU 症候群 3 例の臨床的特徴

一般演題 (口演) 12: てんかん: 治療

6月5日 (金) 9:10~10:10 第7会場

座長 阿部裕一 (国立成育医療研究センター神経内科)
岡西 徹 (鳥取大学脳神経小児科)

O12-01	山本直寛	大阪市立総合医療センター小児青年てんかん診療センター小児脳神経言語療法内科	反射てんかんに対するてんかん外科治療の臨床的検討
O12-02	今村 駿	刈谷豊田総合病院	当院におけるミダゾラム口腔溶液の処方実態と使用後の搬送状況の検討
O12-03	三橋 匠	順天堂大学医学部脳神経外科てんかんセンター	てんかん性スパズムに対する片側視床前核脳深部刺激療法の発作抑制効果検
O12-04	西口奈菜子	国立病院機構長崎医療センター小児科	発作消失後も続く脳波変化: 小児腫瘍関連てんかんの術後経過からの示唆
O12-05	松浦隆樹	埼玉県立小児医療センター小児てんかんセンター	乳児てんかん性スパズムに対する ACTH 療法後の小学校入学の検討
O12-06	平田佑子	埼玉県立小児医療センター神経科	Vigabatrin により infantile epileptic spasms syndrome の発作抑制率は改善したか

一般演題（口演）13：代謝性疾患・神経変性疾患①

6月5日（金）9:10～10:10 第8会場

座長 大守伊織（岡山大学学術研究院教育学域）
吉田健司（京都大学小児科）

O13-01	高橋達也	国立成育医療研究センター神経内科	GALC の病的バリエーションを含む 14 番染色体部分イソダイソミーによって発症した後期乳児型 Krabbe 病の 1 例
O13-02	齋藤加代子	東京女子医科大学	脊髄性筋萎縮症における高用量ヌシネルセンの検討：DEVOTE パート B 及び ONWARD 試験の統合解析結果
O13-03	松田尚人	バイオジェン・ジャパン株式会社	脊髄性筋萎縮症に対するサラネルセン（BIIB115）の第 1 相試験中間結果：安全性および有効性評価
O13-04	萩野谷和裕	宮城県立こども病院神経科	細胞膜のリン脂質成分の非対称性維持に関与する二つの酵素 ATP8A2、ATP11A の遺伝子変異による 2 家系の臨床像と既報との比較
O13-05	山田 聡	北海道大学小児科	Leigh 脳症における神経シナプス伝達不全メカニズムの探索

一般演題（口演）14：不随意運動，基底核疾患

6月5日（金）9:10～10:10 第9会場

座長 熊田聡子（東京都立神経病院神経小児科）
青天目 信（国立病院機構大阪医療センター小児科）

O14-01	玉浦 萌	広島市立舟入市民病院小児科	運動発達遅滞から chorea が顕在化した NKX2-1 関連疾患の家族例
O14-02	田原麻由	東京慈恵会医科大学小児科	Paroxysmal kinesigenic dyskinesia に対する Lacosamide 治療の有効性と安全性
O14-03	西本静香	市立豊中病院小児科	発作性運動誘発性ジスキネジア，発作性非運動誘発性ジスキネジアの両方の臨床的特徴を認めた PRRT2 遺伝子関連疾患の 1 例
O14-04	遠藤若葉	宮城県立こども病院神経科	レボドパと選択的 MAO-B 阻害薬の併用で運動発達の向上が得られている重症型チロシン水酸化酵素欠損症の臨床経過
O14-05	星 佳佑	国立成育医療研究センター神経内科	発症翌日に早期診断したオプソクローヌス・ミオクローヌス症候群
O14-06	星野恭子	昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック	トゥレット症の歯科スプリント治療と歯科との連携について

一般演題（口演）15：末梢神経・筋④

6月6日（土）9:10～10:10 第2会場

座長 服部文子（名古屋市立大学医学部附属東部医療センター小児科）
粟野宏之（鳥取大学遺伝子診療科）

O15-01	荒川玲子	国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター臨床ゲノム科	脊髄性筋萎縮症治療薬リスジプラムの国内使用成績調査（全例調査）最終集計結果（2025年6月カットオフ）
O15-02	渡辺好宏	横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター	神奈川県における脊髄性筋萎縮症新生児スクリーニング後の早期受診体制構築と SMN2 コピー数が 4 であった症例の発症前治療経験
O15-03	富樫紀子	宮城県立こども病院神経科	Nusinersen, Onasemnogene Apeparovvec, Risdiplam で治療した脊髄性筋萎縮症の経過
O15-04	竹島泰弘	兵庫医科大学小児科	PRIME-SMA：脊髄性筋萎縮症（SMA）における 9HPT を用いた上肢のパフォーマンス疲労性の評価と影響する要因の検討
O15-05	李 知子	兵庫医科大学病院遺伝子医療部	新規治療法開発時代におけるデュシェンヌ型筋ジストロフィーおよび脊髄性筋萎縮症に対する出生前診断の検討
O15-06	齊藤利雄	国立病院機構大阪刀根山医療センター神経内科・小児神経内科	脊髄性筋萎縮症（SMA）における 9HPT と BBT を用いた手の作業能力評価の有用性と成績に影響する因子の探索 PRIME-SMA 研究

一般演題 (口演) 16: 急性脳炎・脳症②

6月6日 (土) 9:10~10:10 第3会場

座長 山中 岳 (東京医科大学小児科・思春期科学分野)
永瀬裕朗 (永瀬医院)

O16-01	上田拓耶	神戸大学大学院医学研究科小児科	全身性炎症反応による急性脳症が予測される小児に対するステロイドパルス療法の有効性 一前向き多施設レジストリでの検証一
O16-02	梶原健太	九州大学病院小児科	AESD 診断マーカーとしての脳脊髄液グルタミン酸濃度の有用性
O16-03	佐藤美悠	長崎大学病院小児科	劇症脳浮腫型脳症の4例の頭蓋内圧への外科的介入の有無と予後についての検討
O16-04	守山汐理	東京都立小児総合医療センター神経内科	有熱時けいれん重積に対する体温管理療法の当院における実施状況と有効性
O16-05	山川康平	大阪市立総合医療センター小児脳神経・言語療法内科	脳幹部に病変を有する急性脳脊髄炎の臨床症状と予後についての検討
O16-06	河野 剛	聖マリア病院小児科	急性二相性脳症における拡散テンソル画像による白質の fractional anisotropy 値と予後の関係

一般演題 (口演) 17: 新生児・早産児・周産期脳障害・脳性麻痺

6月6日 (土) 9:10~10:10 第4会場

座長 赤坂真奈美 (岩手医科大学)
久保田哲夫 (安城更生病院小児科)

O17-01	竹内章人	国立病院機構岡山医療センター新生児科・小児神経内科	早産児の term-equivalent age における頭頂と局所脳容積の関連
O17-02	赤井このみ	京都女子大学食物栄養学科	低出生体重モデルラットに対するラクトフェリン投与の効果 一行動試験や多臓器評価の結果から一
O17-03	藤本万友佳	国立成育医療研究センター神経内科	脳出血で発症した新生児静脈洞血栓症における血栓の自然消退経過の検討
O17-04	水谷修平	あいち小児保健医療総合センター神経内科	当院の胎児 MRI における側脳室拡大と知的発達予後の関連
O17-05	是松聖悟	埼玉医科大学総合医療センター小児科	医療的ケアが必要な者に関する実態調査と特別な支援が必要な者の推計方法の確立の調査研究
O17-06	尾崎文美	横浜医療福祉センター港南神経小児科	ボツリヌス療法と外科的痙縮治療を併用した脳性麻痺児における長期経過について

一般演題 (口演) 18: 神経発達症

6月6日 (土) 9:10~10:10 第5会場

座長 下野九理子 (大阪大学大学院連合小児発達学研究所)
岡 牧郎 (国立成育医療研究センターこころの診療科)

O18-01	栗原亜紀	都立府中療育センター小児科	ディスレクシア児の身体協調の特徴 一DCD 視点からの検討一
O18-02	星野廣樹	山梨大学大学院総合研究部医学域薬理学	自閉症モデルにおける発達期聴覚脳幹アストロサイトの再活性化と聴覚過敏発症の時期的関連
O18-03	坂口友理	稲荷山医療福祉センター小児科	神経発達症未就学児の内化化問題, 外在化問題に対する親と保育者の評価, 一致の程度
O18-04	北 洋輔	慶應義塾大学文学部心理学専攻	対面コホート調査に基づく読み書き困難児の発達予後 (1): ひらがなから漢字へ
O18-05	矢富裕子	昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック	トゥレット症の CBIT (Comprehensive Behavioral Intervention for Tics) キタメソッドの初回セッションの効果
O18-06	末田慶太郎	札幌市子ども心身医療センター児童精神科	日本語の読字障害をもつ小中学生の英語の読み書き能力: 新しい英語読み書きスクリーニング検査 STELD を用いて

一般演題 (口演) 19: てんかん: 治療, その他

6月6日 (土) 9:10~10:10 第7会場

座長 奥村彰久 (愛知医科大学小児科)
伊藤 進 (東京女子医科大学小児科)

O19-01	野村和希	順天堂大学医学部附属順天堂医院てんかんセンター	乳児てんかん性スパズム症候群の早期発作としての眼球上転: ACTH療法に先行した脳梁離断術で発作消失を得た一例
O19-02	菊池健二郎	埼玉県立小児医療センター神経科/小児てんかんセンター	ドラベ症候群患者家族会作成の救急搬送カードは救急救命士にとって役立つものか?
O19-03	相原 悠	山梨大学医学部附属病院小児科	小児てんかん患者における学習困難の頻度とリスク因子の検討
O19-04	飯村康司	順天堂大学医学部附属順天堂医院てんかんセンター	Sturge-Weber 症候群における片側大脳半球離断術後の対側大脳皮質肥大: 縦断的 volumetry 解析研究
O19-05	西山将広	神戸大学大学院医学研究科小児科	小児てんかん重積状態・けいれん重積状態の診療実態に関するアンケート調査
O19-06	徳永沙知	兵庫医科大学病院小児科	母体の血清葉酸濃度と乳幼児期の熱性けいれん発症の関連: エコチル調査

一般演題 (口演) 20: 代謝性疾患・神経変性疾患②

6月6日 (土) 9:10~10:10 第8会場

座長 千代延友裕 (京都府立医科大学分子診断・治療医学)
福村 忍 (国立病院機構北海道医療センター)

O20-01	張 雨萌	佐賀大学医学部小児科	ABCC1 活性化による Tay-Sachs 病ニューロンにおけるシナプス機能異常の改善
O20-02	織田海秀	国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科	ECHS1 欠損症 4 例における心筋症の後方視的研究
O20-03	西岡 誠	長野県立こども病院神経小児科	長野県における Krabbe 病に対する拡大新生児マススクリーニングの現状と課題
O20-04	石田航平	札幌医科大学附属病院小児科	体重増加不良, 発達遅滞, 血小板減少を契機に診断された AMeD 症候群の 1 例
O20-05	大澤麻記	心身障害児総合医療療育センター小児科	日本における脳萎縮を伴う小児発症神経変性疾患 (CONDBA) の長期経過
O20-06	堀部拓哉	大阪母子医療センター脳神経内科	新生児期発症後治療の脊髄性筋萎縮症 1 型 6 例の呼吸管理の経過

一般演題 (口演) 21: 画像

6月6日 (土) 9:10~10:10 第9会場

座長 高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
城所博之 (名古屋大学小児科)

O21-01	山田美沙恵	名古屋大学大学院医学系研究科小児科	結節性硬化症における皮質結節の個数および体積の経時的変化
O21-02	森 健治	徳島大学病院小児科	絵本の読み聞かせ聴取時における乳幼児の脳反応について —NIRSによる検討—
O21-03	南澤有紀	国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科	小児の無熱性けいれん群発における Arterial Spin Labeling の有用性の検討
O21-04	泉本麻耶	大阪大学大学院連合小児発達学研究所	TSPO-PET を用いたてんかん焦点の同定と術後転機との関連
O21-05	栗田幸平	大阪大学大学院連合小児発達学研究所	小児期における ASD の感覚処理関連領域の体積と感覚特性の特徴
O21-06	河田奈々子	東京都立小児総合医療センター神経内科	可逆性後部白質脳症候群の画像所見と予後に関する後方視的研究

フリーディスカッション 6月5日(金) 18:20~19:20

一般演題(ポスター) 優秀演題賞/若手優秀演題賞セッション

BP-01	黒岩ルビー	ドラベ症候群患者家族会	ドラベ症候群におけるフェンフルラミン製剤の長期処方における実態調査
BP-02	チョンビンフィー	九州大学大学院医学研究院成長発達医学	福岡県における小児中枢神経炎症性疾患の疫学調査(第一報)
BP-03	村田絵美	大阪大学大学院連合小児発達学研究所附属子どもこころの分子統御機構研究センター	神経発達症児の極端な睡眠障害の経時的変化
BP-04	北原 光	大阪医科薬科大学小児科	通常学級に在籍する定型発達児における漢字書き順習得と漢字書字成績の関連
BP-05	沖 啓祐	大阪母子医療センター脳神経内科	当院における MELAS に対するジクロロ酢酸使用経験と臨床経過
BP-06	池原 甫	松戸市立総合医療センター小児医療センター小児科	小児心肺停止後症例における ROSC 後初回脳波所見の検討

フリーディスカッション 6月4日(木) 18:10~19:10

一般演題(ポスター) 1: 染色体異常 (CGH アレイ異常含む)

P1-01	河合泰寛	神奈川県立こども医療センター神経内科	てんかんを合併した Pallister-Killian 症候群 7 例の臨床像の検討
P1-02	鳥山泰嵩	東京都立北療育医療センター小児科	当院ショートステイを利用した、18 トリソミー・13 トリソミー患者の長期生存例の臨床経過の検討
P1-03	長田知房	東京女子医科大学附属足立医療センター小児科	多発奇形、先天性心疾患、神経発達症を呈した 15q21.3 tetrasomy の女児例
P1-04	青木雄介	あいち小児保健医療総合センター神経内科	脳形成障害を合併し、薬剤抵抗性てんかんと運動発達退行を呈する Smith-Magenis 症候群の 1 例
P1-05	植原 翔	愛知県三河青い鳥医療療育センター小児科	神経発達症外来におけるマイクロアレイ染色体検査
P1-06	前田謙一	宮崎大学医学部小児科	SMARCA4, LDLR 遺伝子を含む 19p13.2 領域の欠失により、脂質異常症を合併した Coffin Siris 症候群の 1 例
P1-07	坂本知子	秋田県立医療療育センター	ARHGAP11B 遺伝子を含む 15q13.2 微細欠失を認めた自閉スペクトラム症の 1 例
P1-08	沢石由記夫	秋田県立医療療育センター小児科	重度知的障害を伴った 7 番染色体母性片親性アイソダイソミー Sliver-Russell 症候群の症例

一般演題(ポスター) 2: 遺伝・遺伝子異常

P2-01	豊嶋大作	加古川中央市民病院小児科	カフェオレ斑のみを認める児に対し、遺伝学的検査を行った 11 例の解析報告
P2-02	生田 光	慶應義塾大学医学部先端医科学研究所脳科学研究部門	皮質下嚢胞をもつ大頭型白質脳症に対する遺伝子治療開発
P2-03	菊地正広	日立製作所日立総合病院小児科	GABBR2 遺伝子変異を有する発達性てんかん性脳症の 1 例
P2-04	堅田有宇	宮城県立こども病院神経科	性腺モザイクに起因する IQSEC2 遺伝子異常の異性同胞再発例
P2-05	青山弘美	千葉県こども病院神経内科	両側視神経萎縮と軸索型運動感覚ニューロパチーを認め、OPA1 遺伝子異常症 (Behr 症候群) と診断した 1 例
P2-06	下村里奈	東京女子医科大学小児科	ZMYM2 の de novo 変異により精神運動発達の遅れを示した女児例
P2-07	橋本和彦	佐世保市総合医療センター小児科	SRPK3 と TTN 遺伝子バリエーションが同定された先天性ミオパチーの 3 兄弟例
P2-08	下島圭子	東京女子医科大学輸血・細胞プロセッシング科	ATAD3A の複合ヘテロ変異を有する Harel-Yoon 症候群の男児例
P2-09	川合裕規	岐阜大学大学院医学系研究科小児科学	両アリアル性 TBCD バリエーションによる難治性てんかんと退行を示した 1 例
P2-10	中村拓自	佐賀大学医学部小児科	片側肥大、神経芽腫を合併した TUBA1A tubulinopathy の一例
P2-11	米元耕輔	福岡市立こども病院小児神経科	MCT8 欠損症の臨床的特徴と診断課題：単施設における 8 症例の後方視的検討
P2-12	森本健太	筑波大学附属病院小児内科	WDFY3 遺伝子変異を認めた小頭症と知的発達症の一例
P2-13	高松朋子	東京医科大学小児科・思春期科学分野	小児期発症の神経発達症を有する VCP 関連疾患の一例
P2-14	出納達也	昭和医科大学医学部小児科	TUBB3 遺伝子変異を認めた先天性眼球運動失行症の一例
P2-15	東 慶輝	愛知医科大学小児科	顔認識アプリから診断に至った Wiedemann-Steiner 症候群の 1 例
P2-16	矢崎耕太郎	国立病院機構奈良医療センター小児神経科	Nicolaides-Baraitser 症候群の難治性てんかんに対しペランパネルが有効であった 1 例

一般演題（ポスター）2：遺伝・遺伝子異常 つづき

P2-17	牧 祐輝	あいち小児保健医療総合センター神経内科	生後3か月発症のてんかんと異常眼球運動を認めた ATP1A3 遺伝子異常症の一例
P2-18	宇根岡紗希	宮城県立こども病院神経科	FOXP1 症候群 3 例における睡眠障害についての検討
P2-19	宇根岡紗希	宮城県立こども病院神経科	TRPV4 ヘテロ接合性変異を有し、遠位型脊髄性筋萎縮症、先天性内反足、傍シルビウス裂症候群・多小脳回を呈した一例
P2-20	八木悠貴	宮城県立こども病院神経科	Beare-Stevenson 症候群（BSS）の 3 例；呼吸管理の困難さと長期的予後の報告
P2-21	林 泰壽	浜松医科大学小児科	骨格異常と全般的発達遅滞を呈した SETBP1 遺伝子異常症の 1 例
P2-22	青柳閣郎	山梨県立あけぼの医療福祉センター小児科	進行性の呼吸機能低下を呈し Whole Exome 解析により Escobar 症候群と診断した 1 例
P2-23	小林良行	広島大学病院小児科	NUSAPI 遺伝子に de novo の病的バリエントを認めた単純脳回型小頭症の 1 例
P2-24	佐藤仁志	金沢医科大学医学部小児科学	モザイク型体細胞バリエントによる重症型 Rett 症候群の男児例
P2-25	白井宏直	東京女子医科大学大学院医学研究科先端生命医学系専攻遺伝子医学分野	スプライス部位バリエントを認めた HNRNP 関連神経発達障害の一例
P2-26	篠原尚美	慶應義塾大学医学部小児科	言語発達の遅れを含む全般的発達遅延が主症状であった SETD1A 遺伝子異常の 1 例
P2-27	石川皓久	聖路加国際病院小児科	片側難聴と先天性肝血管腫を認めた ARID1B 関連コフィンシリス症候群の 1 例
P2-28	森 規彦	宮崎大学医学部小児科	HIVEP2 遺伝子バリエントを有する 2 絨毛膜 2 羊膜双胎例
P2-29	園田有里	福岡赤十字病院小児科	Lennox-Gastaut 症候群を示した FOXP1 症候群に対する治療選択
P2-30	伊藤祐介	浜松医科大学小児科	エクソーム解析により診断した若年発症遺伝性痙性対麻痺 4 型 (SPG4) の一例
P2-31	泉 鉉吉	国立病院機構南和歌山医療センター小児科	顕著な皮膚脆弱性、易出血性を有する治療困難な Ehlers-Danlos 症候群様の一例

一般演題（ポスター）3：先天異常，神経皮膚症候群

P3-01	安藤正人	東京都立神経病院神経小児科	こんな子、いませんか？多毛と眼瞼斜下を伴う神経発達症の 3 例
P3-02	羽田野 裕	神奈川県立こども医療センター神経内科	小児期における全前脳胞症（holoprosencephaly：HPE）の臨床的特徴
P3-03	後藤悠輔	宮城県立こども病院神経科	色素性乾皮症患者におけるメトロニダゾールによる致死性肝機能障害
P3-04	小野浩明	広島市立北部医療センター安佐市民病院小児科	Leigis 症候群の表現型を有する母を持ち、NF1 及び SPRED1 遺伝子バリエントが同時に検出された小児例
P3-05	福島富士子	茨城県立こども病院小児科	乳児期からエベロリムスを投与された結節性硬化症の児の発達およびてんかんの経過について
P3-06	中西智樹	金沢大学附属病院小児科	TSC2 遺伝子の病的バリエントをモザイクで認めた結節性硬化症の一例
P3-07	伊東竜也	弘前大学小児科	頸部髄膜瘤の 1 例
P3-08	栗野宏之	鳥取大学研究推進機構研究基盤戦略センター	言語発達遅滞、特異顔貌、筋緊張低下を認めた NF1 全欠失を伴う神経線維腫症 1 型の 1 例
P3-09	阿部 裕	東北大学医学部小児科	全前脳胞症スペクトラムに表現型の多様性をもたらす分子遺伝学的背景の解明

一般演題（ポスター）4：新生児・早産児・周産期脳障害

P4-01	和田友香	国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター新生児科	NICU 入院中の撮影動画に基づく発達予後予測
-------	------	------------------------------	-------------------------

一般演題（ポスター）5：発達

P5-01	本田真美	医療法人社団のびたあのねこどもくりにっく	乳児期における頭蓋変形と姿勢運動発達との関連多職種連携による発達支援型健診からの検討
P5-02	本田真美	医療法人社団のびたあのねこどもくりにっく	姿勢運動発達の質的評価に基づく早期支援の展開—ボイタ医師講習会を契機とした ZKS 概念の臨床応用と地域支援モデル
P5-03	森 こずえ	宮崎大学医学部小児科	5 歳児健診推進に向けた小児神経医の関わり —宮崎県コンソーシアムからの報告—
P5-04	田中竜太	茨城県立こども病院神経精神発達科	当科に通院する患者の成人移行に関する現状と課題

一般演題（ポスター）6：神経発達症

P6-01	木村有紀	大阪医科薬科大学病院小児科	WAVES 数字みくらべ課題の下位構造と DEM との関連
P6-02	矢野幸治	国立障害者リハビリテーションセンター研究所脳機能系障害研究部発達障害研究室	注意欠如・多動症児の視覚探索と前頭前皮質脳活動の特徴
P6-03	佐野史和	山梨大学医学部薬理学	自閉スペクトラム症モデルマウスにおけるアストロサイト BLBP 発現低下の遅延は不安行動と関連する
P6-04	岡 牧郎	国立成育医療研究センターこころの診療科	発達性ディスレクシアの児童の読字に与えるフォントの影響 — 読字検査の結果から —
P6-05	川崎幸彦	福島県総合療育センター	ADHD 患者におけるグアンファシン治療後の BMI-SD スコアと特性の推移
P6-06	川上優太郎	獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター	学習困難を訴えた 94 例の検討
P6-07	一宮優子	福岡歯科大学小児科	発達性協調運動症と口腔機能発達不全症の関係性の解明
P6-08	温井めぐみ	大阪市立総合医療センター小児脳神経・言語療法内科	小児高次脳機能障害に関する実態調査 — 大阪府内の救急医療機関へのアンケート調査 —
P6-09	鳥川修一	大阪医科薬科大学小児高次脳機能研究所	自閉スペクトラム症を併存した読み障害を持たない漢字書字障害症例の視覚情報処理能力
P6-10	塩田睦記	鳥田療育センターはちおうじ神経小児科	学習面を主訴に受診した小中学生の 10 年の変化と臨床像について
P6-11	福井美保	大阪医科薬科大学小児科	読字困難のある超早産児と正期産児における WISC 検査の比較
P6-12	野崎真紀	昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック	トゥレット症候群における前駆衝動（Premonitory urge）についての検討
P6-13	若本裕之	愛媛県立子ども療育センター小児科	漢字の書字障害のみをもつ自閉スペクトラム症の検討
P6-14	田丸 径	国立病院機構甲府病院小児科	複数のビタミン欠乏による歩行障害をきたした自閉スペクトラム症の小児例
P6-15	滝口慎一郎	平谷こども発達クリニック	就学前に読字リスク早期アセスメントを実施した子どもの就学後の読字能力の調査
P6-16	滝口慎一郎	平谷こども発達クリニック	注意欠如多動症の読字障害（発達性ディスレクシア）への高い併存とその読みに及ぼす影響・臨床的意義
P6-17	川崎幸彦	福島県総合療育センター	ASD 併存、ASD 非併存を含めた ADHD 患者の性差による特性および治療反応性の相違点：単施設後ろ向き研究
P6-18	川崎幸彦	福島県総合療育センター	日本人小児における ADHD サブタイプの特徴と BMI-SD スコアに基づく肥満との関連性
P6-19	緒方怜奈	国立病院機構小倉医療センター小児科	小児 2 型糖尿病を発症した神経発達症の入院例
P6-20	渡邊祐莉子	山梨大学医学部附属病院小児科	小児 2 型糖尿病患児における認知機能の検討
P6-21	平林 優	名古屋市中央療育センター小児科	口腔機能発達不全を認めた発達性協調運動症の 3 例
P6-22	内田智子	千葉大学大学院医学研究院小児病態学	発達特性以外の主訴で神経外来に紹介された 3 例 — 睡眠の問題と神経発達症の関連 —
P6-23	増田章男	愛知県医療療育総合センター発達障害研究所	超解像顕微鏡観察で迫る ZTTK 症候群の病態：核スペックル構造異常がもたらす神経発達障害
P6-24	平林 優	名古屋市中央療育センター小児科	初診の時期の違いによる限局性学習症の背景の比較
P6-25	松本貴子	市立芦屋病院	共有意思決定のための ADHD 薬治療中の親子アンケート
P6-26	松尾基史	倉敷中央病院リバーサイド地域医療リハビリテーション室	注意欠如多動症（ADHD）の幼児期における言語発達の阻害因子
P6-27	朝比奈美輝	浜松市発達医療総合福祉センター友愛のさと診療所小児科	知能検査で高得点を示した 50 例の臨床的特徴および発達特性の検討

一般演題（ポスター）7：神経発達症の療育・支援・福祉

P7-01	佐々木満ちる	北海道療育園	鳥取県における医療的ケア児者の 17 年間の推移と臨床的特徴
P7-02	松井美華	熊本県こども総合療育センター小児科	療育センター外来における、個別こどもと大人の絆を深めるプログラム（CARE）の取り組み
P7-03	小林瑛美子	岐阜県総合医療センター小児療育内科	重症心身障がい児を同胞に持つきょうだい児への支援に関する検討
P7-04	本島敏乃	本島総合病院小児科	幼児期に発達外来を受診した児は学童期どうなるのか—福祉・教育・医療の面から見た支援状況—
P7-05	伊藤昌弘	東京都立東部療育センター	重症心身障害児者施設における疾患別外来患者割合の 10 年間の推移
P7-06	石垣英俊	浜松市発達医療総合福祉センター小児科	1 歳 6 か月および 3 歳健康精査後に当センターを紹介された児の最近 3 年間の実態
P7-07	熊野麻美	福井県こども療育センター	幼児健康診査結果の保護者の受け止めに関する検討
P7-08	金堂円太郎	久留米大学医学部小児科	起立性調節障害における QTA30 と就寝時刻・不登校日数の関連
P7-09	田口寛子	慶應義塾大学医学部小児科	大学病院小児神経外来の年齢超過患者における主治医退職時の成人移行に関する検討
P7-10	井上大嗣	長崎県立こども医療福祉センター	ペアレント・トレーニングにおける家族機能と養育自信度の関連
P7-11	玉井駿也	大阪大学大学院連合小児発達学研究所	自閉スペクトラム症児における全身協調の定量化の試み
P7-12	宇野里砂	豊中市立児童発達支援センター小児科	豊中市の乳幼児早期の発達遅滞・発達障害児・発達障害リスク児への日常生活支援の取り組み（第 4 報）
P7-13	早川美佳	東京都立北療育医療センター小児科	ボランティア活動に取り組むことで幸福度が向上した思春期の障がい児の 1 例
P7-14	小川泰佑	東北医科薬科大学医学部	地域における重症心身障がい児の移行医療体制構築に向けた医療者間の役割認識の比較研究—第一報—
P7-15	石井隆大	久留米大学医学部小児科学講座	精神疾患を有する親を持つ子ども（COPMI）に対する支援の現状と課題：当院虐待対策チームの記録からの検討
P7-16	（演題取り下げ）		
P7-17	山岸裕和	国際医療福祉リハビリテーションセンターなす療育園	新型コロナウイルス感染流行が医療的ケア児の短期入所利用に与えた影響

一般演題（ポスター）8：脳性麻痺

P8-01	古島わかな	東京都立府中療育センター小児科	重症心身障害者に発症した大腸癌 9 例における診断および治療上の課題
P8-02	池田尚広	筑西いけだクリニック	重症心身障害児者に対する診療所での在宅医療の実践
P8-03	大瀧 潮	大同宏緑会にじいろのいえ小児科	小児長期入所施設における夜間人工呼吸器使用と睡眠薬内服の関係
P8-04	野田あんず	埼玉県立小児医療センター総合診療科	褥瘡・創部閉鎖不全に対して陰圧閉鎖療法と CaHMB・L-アルギニン・L-グルタミン配合飲料（アバンド）を併用した重症心身障害児 2 例
P8-05	濱田朋弥	島田療育センター小児科	重症心身障害児者における異常筋緊張亢進と横紋筋融解症についての検討
P8-06	豊野美幸	秋田県立医療療育センター	経鼻エアウェイと非侵襲的人工呼吸器管理を併用した重症心身障害児の 3 例
P8-07	梅山有里子	国立精神・神経医療研究センター病院脳神経小児科	左室駆出率の保持された心不全（HFpEF）を合併した重症心身障害者の 2 例
P8-08	市川和志	神奈川リハビリテーション病院小児科	小児の歩行障害に対するロボットスーツ HAL 下肢タイプ（2S サイズ）による集中リハビリテーションの効果
P8-09	石原万理子	滋賀県立総合病院小児科	カテーテル関連血流感染症に対してエタノールロック療法を実施した 4 例の検討
P8-10	木藤嘉彦	国立病院機構兵庫あおの病院小児科	乳児期心停止で低酸素性虚血性脳症になり、全エクソン解析にて myosin storage disease（MSD）と診断した 1 例
P8-11	吉野 豪	鳥取大学医学部付属病院脳神経小児科	当院における重症心身障害児の在宅高流量鼻カニューラ酸素療法の有用性
P8-12	和田恵子	東京小児療育病院	重症度に差がある双胎の軽度脳性麻痺の 2 成人例を経験して

一般演題（ポスター）9：自律神経，頭痛

P9-01	原口康平	長崎大学病院小児科	脳脊髄液中リポカリン型プロスタグランジン D2 合成酵素濃度を経時的に測定した特発性頭蓋内圧亢進症の 1 例
P9-02	小俣優子	誠馨会千葉メディカルセンター	内頸静脈逆流を認めた一次性運動時頭痛の男子例
P9-03	美間健二	仙台市立病院小児科	腰椎穿刺により外転神経麻痺と頭痛の増悪を認めた Chiari 奇形 1 型の 1 例
P9-04	山下大輔	久留米大学医療センター先進漢方治療センター	不登校とフクロウ体質との関連の検討
P9-05	大橋裕子	なかの小児科クリニック	脳脊髄液漏出症 6 例の検討

一般演題（ポスター）10：神経生理（脳波，筋電図，脳磁図など）

P10-01	伊予田邦昭	福山市こども発達支援センター	発作性脳波異常をもつ自閉スペクトラム症児に対する薬物治療介入の検討
P10-02	末永祐太	埼玉県立小児医療センター集中治療科	rCAST スコアによる重症度分類と早期脳波背景活動所見からみた小児心停止後症候群の予後予測の有用性
P10-03	藤井仁美	国立病院機構西新潟中央病院神経小児科	当院神経小児科における長時間ビデオ脳波モニタリング施行例の検討
P10-04	鈴木基正	あいち小児保健医療総合センター神経内科	救急外来での 2 チャンネル脳波における発作の判断の課題

一般演題（ポスター）11：画像

P11-01	林 貴大	倉敷中央病院小児科	当院で経験した二相性臨床経過と遅発性拡散能低下を呈する乳児外傷性脳損傷（TBIRD）の2例
P11-02	今村芽依	富山大学医学部小児科	公衆浴場での転倒後に二相性けいれんと頭部 MRI 拡散強調像で bright tree appearance を呈した6歳児
P11-03	田浦喜裕	京都山城総合医療センター小児科	鎮静薬を用いた小児 MRI 検査の実施現状と問題点の検討
P11-04	佐藤睦美	小田原市立病院小児科	白質病変を認めた Kenny-Caffey syndrome type 2 の一例
P11-05	伊藤あかね	浜松医科大学小児科	排尿障害をきたした腰椎穿刺後の脊髄硬膜外液体貯留の1例
P11-06	奥津 真	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター小児科	軽微な外傷を契機に中枢・末梢神経障害を呈し、外傷性脊髄損傷が疑われた3歳女児例
P11-07	大津幸穂	佐賀大学医学部小児科	腸管出血性大腸菌関連溶血性尿毒症症候群に併発した脳症および分水嶺域の多発出血性脳梗塞の1例
P11-08	後藤 健	北海道大学病院小児科	脳梗塞を伴った可逆性脳血管攣縮症候群の小児例
P11-09	高橋 努	済生会宇都宮病院小児科	錐体路の DWI 高信号は病変か成熟か—FA 値で臨床・画像不一致を解く

一般演題（ポスター）12：不随意運動，基底核疾患

P12-01	柴田有里	自治医科大学小児科	眼球運動異常を主訴とする小児の症候と原疾患の検討
P12-02	樫木朋子	くまもと江津湖療育医療センター小児科	Paroxysmal sympathetic hyperactivity に対しピソプロロールが有効だった重症心身障害児の一例
P12-03	吉川遥菜	東京都立小児総合医療センター神経内科	生後0日からの左右非対称性異常眼球運動により診断した小児交互性片麻痺の1例
P12-04	山口哲弘	東京都立神経病院神経小児科	動画でみる GNAO1 関連運動異常症 一脳深部刺激療法の成績と注意点—

一般演題（ポスター）13：睡眠障害

P13-01	田中朋美	富山大学医学部小児科	4歳6か月時点で実施した睡眠関連疾患スクリーニングと小学6年生時の睡眠との関連（エコチル調査の追加調査より）
P13-02	河村加奈子	大阪大学大学院連合小児発達学研究所	日本在住日本人・米国在住日本人・米国在住非日本人小学生の睡眠習慣比較
P13-03	石原靖紀	福井愛育病院	慢性連日性頭痛として紹介され、特発性過眠症・起立性調節障害と診断した15歳女性の一例
P13-04	白井謙太郎	茨城県立こころの医療センター	起立性調節障害に伴う頭痛が睡眠からの治療で改善した症例
P13-05	杉江秀夫	葵町こどもクリニック	睡眠障害の改善に伴って登校可能となった不登校児の2例
P13-06	岩淵恵美	茨城県立こども病院	小児外来と睡眠外来における睡眠の問題の検討

一般演題（ポスター）14：内分泌，中毒，栄養

P14-01	石倉 駿	千葉県こども病院神経内科	急性脳症との鑑別を要した市販薬による薬物中毒の 1 例
P14-02	徳永 航	日本大学医学部小児科	小児期発症の神経性やせ症における体重回復前後の内分泌合併症と脳血流の関係
P14-03	篠崎浩平	和歌山県立医科大学小児科学講座	極度の低栄養により心停止を呈し，補助循環にて救命し得た摂食障害女児例
P14-04	金澤秀昭	福岡市立こども病院小児神経科	オキシブチニン外用薬の過量塗布による抗コリン中毒と考えられた小児例
P14-05	井中将吾	和歌山県立医科大学小児科	再栄養時に横紋筋融解症を発症した摂食障害の 9 歳女児例
P14-06	滝本勇至	田附興風会医学研究所北野病院小児科	急性小脳失調症，けいれん重積型脳症と鑑別を要したチアミン（ビタミン B1）欠乏症の 2 例
P14-07	木村有希	群馬大学医学部附属病院小児科	けいれんで発症した遅発型低カルシウム血症の新生児例
P14-08	八谷靖夫	東京都立府中療育センター	長年の腸瘻栄養管理中にビタミン B12 欠乏が判明した重症心身障害者の一例

一般演題（ポスター）15：災害

P15-01	北村太郎	仙台市立病院小児科	COVID-19 パンデミック後の神経症状を主訴とする診断未確定症例に関する考察
P15-02	遠藤雄策	一般社団法人みらい TALK	行政と協働した医療的ケア者の避難訓練の実施 —安否確認アプリとマイタイムラインを用いて—

フリーディスカッション 6月5日(金) 18:20~19:20

一般演題(ポスター) 16: てんかん: 診断・遺伝子

P16-01	池田 梓	神奈川県立こども医療センター神経内科	長期管理にメキシレチン内服が有効であった SCN2A バリエーションによる早期乳児てんかん性脳症の2例
P16-02	道和百合	群馬県立小児医療センター神経内科	左前頭葉の血流低下と焦点意識減損発作重積を繰り返した 8p 逆位欠失重複症候群の1例
P16-03	比屋根真彦	沖縄赤十字病院小児科	当初小児欠てんかんが疑われたが、難治に経過し、MERRF(赤色ぼろ線維を伴うミオクロームてんかん)と診断した女児例
P16-04	阿部真麻	杏林大学医学部小児科	中等度知的障害を伴う乳児てんかん性スパズム症候群を表現型とした新規 GABRA1 バリエーションの1例
P16-05	成 健史	草加市立病院小児科	自然終息性乳児てんかんを呈した 16p11.2 微細欠失症候群の1例
P16-06	中野さやか	市立伊丹病院小児科	てんかん性脳症を呈し、舌ミオキミアおよび失調発作にカルバマゼピンが著効した KCNA1 遺伝子変異の小児例
P16-07	田港希和	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科・こころ科	てんかん性無呼吸に発作時脳波とベランパネルが有効であった一例
P16-08	寺西宏美	埼玉医科大学病院小児科	ベランパネルが著効した SLC6A1 変異によるミオクロニー脱力発作を伴うてんかんの1例
P16-09	高橋哲朗	新百合ヶ丘総合病院発達神経学センター	神経発達症を背景に図形凝視による発作誘発行為を繰り返した光感受性全般てんかんの女児例
P16-10	江藤昌平	滋賀県立総合病院	非けいれん性てんかん重積状態を合併した眼瞼ミオクロニーを伴うてんかんの1例
P16-11	野々山葉月	東京慈恵会医科大学小児科	TSC2 バリエーションと右弁蓋部の皮質形成異常を呈しビタミン B6 が著効した IESS の女児例
P16-12	平川雄大	佐賀大学医学部小児科	ベランパネルが著効した ITPA 遺伝子関連発達性てんかん性脳症の同胞例

一般演題(ポスター) 17: てんかん: 治療

P17-01	金村英秋	東邦大学医療センター佐倉病院小児科	てんかん患者におけるベランパネル一次単剤療法に関する観察研究(PORTABLE Study)の最終報告
P17-02	山添知宏	総合病院聖隷三方原病院ベテルてんかんセンター	乳幼児期発症の症候性全般てんかんに対する早期迷走神経刺激療法導入の発作減少効果
P17-03	戸川雅美	鳥取県立中央病院	当科通院中の患者におけるミダゾラム口腔用液投与の保育園・学校での申請、使用状況
P17-04	藤本 遼	千葉県こども病院神経内科	乳児てんかん性スパズム症候群における VPA と ACTH 療法の併用に伴うフィブリノゲン低下の検討
P17-05	元木崇裕	愛媛大学医学部小児科	Dravet 症候群および Lennox-Gastaut 症候群に対するフェンフルラミンの有効性と副作用に関する検討
P17-06	矢部愛美	NHO 静岡てんかん・神経医療センター小児科	発作時脳波で左右独立した発作焦点が疑われた右側頭頂後頭葉の限局性皮質異形成の乳児例
P17-07	吉村 歩	聖隷三方原病院ベテルてんかんセンター	VNS 導入後の精神症状変化に対して薬剤調整を行い、認知行動改善を得た難治てんかん児の1例
P17-08	石井雅宏	北九州総合病院小児科	基礎疾患に神経発達症・軽度知的発達症を持つ児の初回抗てんかん薬に対する反応性
P17-09	實藤雅文	佐賀大学医学部小児科	退行症状に継続的な ACTH 隔週投与が有効であった GABRB2 関連発達性てんかん性脳症の一例
P17-10	浅見麻耶	岩手医科大学小児科	Long-term Weekly ACTH が有効だった乳児てんかん性スパズム症候群の2例
P17-11	仲村貞郎	琉球大学大学院医学研究科育成医学講座	難治性下痢症を発症した 21 トリソミーにおける Lennox-Gastaut syndrome の一例
P17-12	濱原彩加	順天堂大学医学部附属静岡病院小児科	静岡県東部地域におけるミダゾラム口腔溶液の有効性と安全性

一般演題 (ポスター) 17: てんかん: 治療 つづき

P17-13	池田ちづる	国立病院機構熊本再春医療センター小児科	薬剤抵抗性てんかん患者に対するプリバラセタムの治療効果と副作用の検討
P17-14	宮下光洋	NHO 静岡てんかん・神経医療センター	バルプロ酸によりびまん性大脳萎縮と運動失調を生じた 3 例
P17-15	堀口明由美	自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科	当院小児科におけるフェンフルラミンの使用経験
P17-16	石崎英里奈	あおぞら診療所うえの	ペランパネル, 桂枝茯苓丸にて月経関連けいれん群発が軽快した SMC1A 関連てんかん性発達性脳症の 1 例
P17-17	高橋美智	島田療育センター小児科	重症心身障害児 (者) 施設における抗てんかん発作薬の使用状況
P17-18	秋山 蒼	田附興風会医学研究所北野病院	フェンフルラミンにより認知面および心理行動面の改善を認めたドラベ症候群 4 例
P17-19	白水洋史	福岡山王病院機能脳神経外科センター	ロボット支援装置 (ROSA) 下での視床下部過誤腫に対する定位温熱凝固術
P17-20	須貝研司	重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎小児科	薬物代謝酵素と代謝経路から見た抗てんかん発作薬の相互作用
P17-21	志手弥生	奈良県立医科大学小児科	ケタミン持続静注が有効であった超難治性てんかん重積の新生児発作例
P17-22	河南幸乃	鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科	DEE-SWAS において高用量ベンゾジアゼピン療法後の VPA 内服治療が脳波と認知面に対して著明な改善を示した 1 例
P17-23	関口郁奈子	北海道大学病院小児科	ACTH 療法後に硬膜下血腫を認めたものの, 慎重な観察下に減量 ACTH 療法を反復し得た乳児てんかん性スパズム症候群の 1 例
P17-24	長瀬朋子	中部国際医療センター小児科	海外からの移住を契機にオクスカルバゼピンから薬剤変更を行った 1 例
P17-25	酒井祐介	北海道大学病院小児科	1p36 欠失症候群の発達性てんかん性脳症に対するケトン食療法
P17-26	福岡正隆	大阪市立総合医療センター小児脳神経・言語療法内科	超難治性てんかん重積状態治療後に慢性肝・胆道系障害を呈した 1 例
P17-27	岸 高正	荒木脳神経外科病院小児科	断薬 2 年後に欠神発作の再発を来した小児欠神てんかんの 1 例
P17-28	田中雅風	岡崎市民病院小児科	レベチラセタムからの切り替えでプリバラセタムによる治療を行った小児 2 例

一般演題 (ポスター) 18: てんかん: その他

P18-01	服部妙香	大阪公立大学大学院医学研究科小児科	新生児期脳室内出血術後症例におけるてんかん発症と神経予後の検討
P18-02	松浦隆樹	埼玉県立小児医療センター小児てんかんセンター	市民公開講座「てんかん教室」開催の成果と展望 ―全 35 回の開催を通して―
P18-03	中川栄二	国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部	てんかん地域診療連携体制整備事業における現状と課題
P18-04	出雲大幹	県立広島病院小児科	高度腎機能低下を有する慢性腎臓病乳児・幼児例における Levetiracetam の投与設計
P18-05	下村英毅	兵庫医科大学小児科	妊娠中の母親の揮発性有機溶剤使用と West 症候群発症の関連について: エコチル調査
P18-06	宮奈 香	東小金井小児神経・脳神経内科クリニック	けいれんおよび意識消失の主訴に対しホルター心電図を施行した 31 例の検討
P18-07	生田陽二	東小金井小児神経・脳神経内科クリニック	成人移行を目的に当院を受診した 172 例の臨床的背景
P18-08	岡崎 伸	大阪市立総合医療センター小児脳神経言語療法内科	nana-medi を使用したてんかんオンライン診療の 3 年間の評価
P18-09	中村小百合	シャローム病院	地域で支える移行期てんかん医療 ―成人神経内科と訪問診療の連携による実践―
P18-10	服部有香	高槻病院小児科	移行期年齢を迎えた West 症候群患者の現状と課題

一般演題 (ポスター) 18: てんかん: その他 つづき

P18-11	中島眞生子	聖マリアンナ医科大学小児科	学校健診が診断の一助となった Landau-Kleffner 症候群の一例
P18-12	矢野珠巨	秋田県立医療療育センター	機能的半球離断術後に頻脈発作を繰り返している片側巨脳症の女児例
P18-13	中川裕康	浅ノ川総合病院小児科	視覚異常を主訴にてんかん外来を受診した症例の検討
P18-14	植月元一	国立病院機構高松医療センター小児科	気管腕頭動脈の圧迫による窒息をきたした重症心身障害者の一例
P18-15	赤星 駿	鳥取県立中央病院小児科	人工呼吸管理下で amplitude-integrated EEG が非けいれん性重積状態の検出と治療評価に有用であった 2 例
P18-16	平沢光明	東京都立墨東病院	診断後に複数の精神科の特徴が判明し対応に難渋した心因性非てんかん性発作の一例
P18-17	池川 環	済生会横浜市南部病院小児科	心因性非てんかん発作 (PNES) が疑われた後にてんかんを発症した一例

一般演題 (ポスター) 19: 代謝性疾患・神経変性疾患

P19-01	加藤 環	東京女子医科大学ゲノム診療科	脊髄性筋萎縮症患者におけるリスジプラムの治療有効性バイオマーカーとしての SMN タンパクの有用性
P19-02	中村悠弥子	東京大学大学院医学系研究科神経内科学	自然経過で病変の拡大を認めなかった大脳型 ALD (Arrested CALD) の 6 例の検討
P19-03	小倉 司	神奈川県立こども医療センター	発作性交感神経過活動をきたしたアスパラギン合成酵素欠損症の一例
P19-04	寺嶋 宙	東京大学医学部附属病院小児科	分岐鎖アミノ酸除去ミルクにより体調悪化なく栄養状態が改善した、Leigh 脳症慢性期に ECHS1 異常症と判明した 17 歳女子
P19-05	福村 忍	札幌医科大学医学部小児科	L-セリン投与が有効であった 3-ホスホグリセレートデヒドロゲナーゼ欠損症の 1 例
P19-06	江口勇太	広島大学病院小児科	SMN ハイブリッド遺伝子を有する脊髄性筋萎縮症の治療経験
P19-07	齋藤加代子	Tokyo Women's Medical University	Real-World Assessment of Onasemnogene Apeparovect in Patients with SMA: Interim Report of the RESTORE Registry in Japan
P19-08	平岩明子	富山大学医学部小児科	神経発達症からの再評価を契機に若年型ハンチントン病と診断された症例
P19-09	小池敬義	久留米大学医学部小児科	知的障害, てんかん, 繰り返す熱性けいれん既往としてみられていたクレアチントランスポーター欠損症の男児例
P19-10	寺崎英佑	兵庫医科大学小児科学教室	オナセムノゲンアベパルボベク投与後に急性脳症を発症した脊髄性筋萎縮症 I 型の 1 例
P19-11	白井みほ	自治医科大学附属病院小児科	起立性調節障害および自閉スペクトラム症特性を呈したシトリン欠損症の 1 例
P19-12	戸澤雄紀	京都府立医科大学小児科	拡大新生児スクリーニングで早期診断, 同種臍帯血移植を行った乳児型クラッペ病の男児
P19-13	牧野道子	東京小児療育病院	当院通院中の SENDA/BPAN 3 例の臨床症状と頭部 MRI 画像
P19-14	土肥周平	大阪公立大学大学院医学研究科小児科	オナセムノゲンアベパルボベク投与後血拴性微小血管症を呈した脊髄性筋萎縮症症例における血清サイトカインプロファイルの検討
P19-15	漆畑 侖	浜松医科大学小児科	新規 GCHI 遺伝子ヘテロ接合性変異を認めた瀬川病の一例

一般演題 (ポスター) 20: 末梢神経・筋

P20-01	富井聡一	神奈川県立こども医療センター	当院における福山型先天性筋ジストロフィーの臨床経過
P20-02	杉山延喜	東海大学医学部小児科	伝染性紅斑を契機に可逆性後頭葉白質脳症を併発したギランバレー症候群 6 歳女児例
P20-03	大場千鶴	市立ひらかた病院小児科	歩行障害・筋力低下を主訴に受診した小児の診断内訳と心理社会的背景の検討
P20-04	武藤重希	みなと医療生活協同組合協立総合病院小児科	突発性発疹症の急性期に筋炎を合併した男児例
P20-05	森山剣光	東京科学大学小児科	乳児期に治療を開始した脊髄性筋萎縮症 1 型における bell-shaped chest index を用いた胸郭形態の評価
P20-06	森脇幸穂	倉敷中央病院小児科	食思不振と活気不良が初発症状のため診断に苦慮したギラン・バレー症候群の 2 例
P20-07	山田博之	公立豊岡病院組合立豊岡病院小児科	急性呼吸不全を契機に夜間低換気が顕在化した NEB 遺伝子変異によるネマリニンミオパチーの兄妹例
P20-08	大野綾香	広島大学病院小児科	小児期早期に発症した抗 SRP 抗体陽性免疫介在性壊死性ミオパチーの一例
P20-09	上田成十	京都府立医科大学附属北部医療センター	不随意運動重積に伴う心停止蘇生後に重症疾患多発ニューロミオパチーを発症した 1 例
P20-10	木水友一	大阪母子医療センター脳神経内科	発症後治療の SMA1 型に必発する早期脊柱側弯症の特徴について
P20-11	木水友一	大阪母子医療センター脳神経内科	発症後治療の脊髄性筋萎縮症 1 型に必発の早期脊柱側弯症に対する姿勢管理を中心としたリハビリテーション介入の効果【中間報告】
P20-12	山本千裕	市立ひらかた病院小児科	腰痛で発症し、深部腱反射の亢進を認めたギラン・バレー症候群の一例
P20-13	前田夢吉	福井大学小児科	頻回の PSVT 発作でカテーテルアブレーションを要したベッカー型筋ジストロフィーの 14 歳男子例
P20-14	舞鶴賀奈子	天理よろづ相談所病院	錐体外路症状を呈さず心室頻拍と日光過敏を有した MICU1 欠損症
P20-15	吉井祥子	千葉大学医学部附属病院小児科	手掌の色調変化と腫脹で発症した第 1 肋骨奇形を伴う胸郭出口症候群の 1 例
P20-16	下田木の実	東京大学医学部附属病院小児科	周期的な無動・無言、ミオトニアを認め、著明な筋力低下を呈した SCN4A 遺伝子の病的意義不明バリエーションを片側アレルに認めた 1 例
P20-17	児玉香織	東北大学小児科	ギランバレー症候群に可逆性後頭葉白質脳症を合併した一例
P20-18	楠本将人	滋賀県立総合病院小児神経内科	脊髄性筋萎縮症の双生児に対する遺伝子治療後の血栓性微小血管症及び肝機能障害の経験
P20-19	宮里智博	大阪赤十字病院小児科	既知遺伝子変異を認めない周期性四肢麻痺疑いの 12 歳男児の 1 例
P20-20	相場佳織	あいち小児保健医療総合センター神経内科	X-常染色体相互転座を有し、進行性筋力低下を認めるジストロフィノパチーの女子例
P20-21	川井未知子	昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック	肢帯型筋ジストロフィーとして長期フォローされていた GNE ミオパチーの 1 例

一般演題 (ポスター) 21: 脳外科領域・血管障害

P21-01	赤峰 哲	九州大学病院小児科	下大静脈閉塞に伴い心肺停止時に脊髄梗塞を発症した Adams-Oliver 症候群の一例
P21-02	藤井史彦	福岡市立こども病院	片側性の急性弛緩性麻痺を呈した脊髄梗塞の一例
P21-03	星出まどか	山口大学医学部附属病院医療の質・安全管理部	当院における頭部外傷を伴う小児の転倒転落分析 — PECARN 基準利用の妥当性の検討 —
P21-04	中尾泰介	国立病院機構小倉医療センター小児科	PICC 挿入下のステロイドパルス療法後に上腕～腕頭静脈血栓性静脈炎を発症した 9 歳女児例

一般演題 (ポスター) 21: 脳外科領域・血管障害 つづき

P21-05	三井善崇	金沢医科大学病院	後屈運動と転倒を契機に発症した脊髄梗塞の女児例
P21-06	飯塚百花	群馬大学医学部附属病院小児科	腹痛で発症した脊髄動静脈奇形による髄内出血の小児例
P21-07	黒川慎吾	琉球大学大学院医学研究科育成医学小児科	可塑性脳血管攣縮症候群を発症した ZTTK 症候群の一例
P21-08	山本晃代	札幌医科大学小児科	小児期に発症した可逆性脳血管攣縮症候群の 2 例
P21-09	村上 淑	千葉県こども病院神経内科	家族性海綿状血管腫の一例
P21-10	竹内彩華	大阪市立総合医療センター小児青年てんかん診療センター小児脳神経・言語療法内科	脳梁離断後、定位的頭蓋内脳波 (SEEG) を経て機能的半球離断術を選択した乳児てんかん性スパズム症候群の 1 例

一般演題 (ポスター) 22: 急性脳炎・脳症 (自己免疫性脳炎を除く)

P22-01	池田美希	東北大学病院小児科	急速進行性の脳浮腫と広範な白質病変を呈した急性出血性白質脳炎の男児例
P22-02	齊藤志穂	高知大学医学部附属病院小児科	Dexamethasone 髄腔内投与により良好な経過をとった難治類回部分発作重積型急性脳炎の 1 例
P22-03	加藤早苗	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター小児科	脳梁膨大部病変が先行したインフルエンザ小脳炎の 1 例
P22-04	深沢達也	安城更生病院小児科	ビタミン B1, B6, カルニチンのけいれん重積型 (二相性) 脳症 (AESD) への効果の検討
P22-05	大高永宇	日本医科大学武蔵小杉病院小児科	4 歳で初発の肺炎球菌性髄膜炎に罹患し、散在性白質病変を伴う急性脳症に発展した Mondini 奇形の女児の一例
P22-06	山田直紀	あいち小児保健医療総合センター神経内科	髄液インターロイキン 6 の経時的評価が治療方針決定に有用であった Febrile Infection-Related Epilepsy Syndrome の 1 例
P22-07	今井 憲	東京都立小児総合医療センター神経内科	当院で経験した発熱感染症関連てんかん症候群 (FIRES) の中長期予後
P22-08	青柳 暁	長野県立こども病院神経小児科	重症な経過をとった脳梁膨大部病変を伴う急性小脳炎の 1 例
P22-09	國澤久路	兵庫県立こども病院神経内科	急性脳症疑い例における末梢血リンパ球の後方視的検討
P22-10	増田景子	福岡市立こども病院小児神経科	インフルエンザ関連脳症に ADHD 不適合分泌症候群を合併した 1 例
P22-11	一ノ瀬文男	佐賀大学医学部小児科	けいれん重積型 (二相性) 急性脳症 (AESD) に対する TRH 療法の実施可能性と安全性: 単施設後方視的研究
P22-12	伊藤凌典	東北医科薬科大学医学部	解熱後の異常行動が唯一の症状である皮質脳炎を疑う一例
P22-13	白井綾乃	横浜市立大学附属市民総合医療センター小児科	TRH 療法が有効であった infantile traumatic brain injury with a biphasic clinical course and late reduced diffusion の 1 例
P22-14	杉田玲奈	さいたま市民医療センター小児科	著明な神経学的回復を示した COVID-19 関連急性壊死性脳症の一例
P22-15	熊崎健介	鳥取大学医学部脳神経小児科	辺縁系病変と bright tree appearance, てんかん性スパズムを呈し、ガンシクロビルを含む集学的治療を行った HHV-6 脳炎・脳症の 1 例
P22-16	里 龍晴	長崎大学病院小児科	当院における出血性ショック脳症の臨床像の検討
P22-17	守谷充司	仙台市立病院小児科	異なる経過を辿った単純ヘルペス脳炎の 2 例
P22-18	西岡篤史	国立成育医療研究センター神経内科	多臓器不全を伴う急性ショック脳症・出血性ショック脳症症候群/急性脳浮腫型脳症の臨床像に関する多施設共同コホート研究

一般演題（ポスター）23：自己免疫性脳炎

P23-01	竹尾俊希	安城更生病院小児科	国内の抗 AQP4 抗体陽性 NMOSD の小児例の検討
P23-02	北岸弥寿朗	滋賀医科大学医学部附属病院	思春期発症の咽頭・頸部・上腕型 Guillain-Barre 症候群の特徴を有した Bickerstaff 型脳幹脳炎の 1 例
P23-03	岡澤 賢	帝京大学医学部小児科	抗 JCV 抗体陽性の小児期発症多発性硬化症における疾患修飾薬選択
P23-04	宮里茉樹	田附興風会医学研究所北野病院小児科	最後野症候群を呈した抗 MOG 抗体関連疾患の小児例
P23-05	竹原英駿	順天堂大学医学部附属順天堂医院小児科・思春期科	広範な脱髄病変で発症し 4 年後に視神経炎を呈した抗 MOG 抗体関連疾患の 1 例
P23-06	福與なおみ	東北医科薬科大学医学部小児科	再発予防策なしに再発のない MOGAD 症例の MOG 抗体価の推移
P23-07	三浦正秀	長崎みなとメディカルセンター小児科	MRI と神経伝導検査が診断に有用であった Bickerstaff 型脳幹脳炎の 1 例
P23-08	高松紗良	東京慈恵会医科大学小児科	頭痛が先行し味覚障害を伴った抗代謝型グルタミン酸受容体抗体陽性の急性小脳炎の小児例
P23-09	児嶋耕太郎	宮崎大学医学部附属病院小児科	抗ラクトシルセラミド抗体陽性の自己免疫性脳炎をきたした一例
P23-10	花岡義行	倉敷中央病院小児科	律動性ミオクローヌスを伴った急性散在性脳脊髄炎の 1 例
P23-11	松岡剛司	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	抗 NMDA 受容体抗体関連症例における精神科移行の課題

一般演題（ポスター）24：感染、免疫（急性脳炎・脳症を除く）

P24-01	馬場悠生	鹿児島市立病院小児科	マルチプレックス PCR 法導入後の当院のエンテロウイルス髄膜炎の検討
P24-02	郷古康愛	春日部市立医療センター小児科	当地域における新生児期ならびに乳児期エンテロウイルス髄膜炎の臨床的特徴
P24-03	白井真規	長野県立こども病院神経小児科	長野県におけるムンプスワクチンの接種状況と接種前の情報提供に関する全県調査
P24-04	柿本 優	東京大学医学部附属病院小児科	無症候性先天性サイトメガロウイルス感染症における遅発性神経学的後遺症
P24-05	山本達彦	秋田大学小児科	当院で経験した抗 MOG 抗体関連疾患の 4 例
P24-06	所谷知穂	川崎医科大学小児科	インフルエンザ関連神経合併症の小児入院例におけるウイルス株および抗体価の検討
P24-07	柏井洋文	東京都立神経病院神経小児科	低用量経口ステロイドを志向した小児期発症全身型重症筋無力症の治療経験
P24-08	久保昭悟	東北大学病院小児科	小児期発症の多発性硬化症に対するフマル酸ジメチルの有用性について
P24-09	平良遼志	福岡市立こども病院小児神経科	小児期発症の再発寛解型多発性硬化症における疾患修飾薬選択に関する意思決定過程
P24-10	城賀本敏宏	愛媛大学医学部附属病院小児科	小児視神経炎 3 例の臨床的検討
P24-11	木許恭宏	宮崎大学医学部小児科	脳室ドレーン留置中の髄腔内感染に対し LVFX と L-AMB の髄腔内投与を行った男児例
P24-12	大谷紗公乃	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院小児科	先行する感染巣を認めず、MRI で診断しえた硬膜下膿瘍の乳児例
P24-13	佐々木 侑	獨協医科大学埼玉医療センター小児科	早期診断、治療が有効であった水痘-帯状疱疹ウイルス（varicella-zoster virus；VZV）血管症の若年例
P24-14	打越史佳	大阪公立大学大学院医学研究科小児科	体組成解析結果が臨床症状と相関した抗神経抗体陰性視神経脊髄炎の 8 歳女児例

一般演題（ポスター） 25：病理・形態

P25-01	大滝里美	埼玉医科大学病院小児科	精神症状が主体で発症し、頭部 MRI 検査で白質病変を認め脳生検を実施した 1 例
--------	------	-------------	---

International Session (Platform Presentation) 優秀演題賞/若手優秀演題賞セッション

June 6 9:10~10:00 Room 1

Chair Shinji Saitoh (Department of Pediatrics and Neonatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences)

Mitsuhiro Kato (Department of Pediatrics, Showa Medical University)

BIO-01	Shimpei Matsuda	Department of Clinical Medical Sciences, Child Brain Project, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, Tokyo, Japan	Pathogenic human autoantibodies against NMDA receptor induce irreversible alterations in dendritic spine morphology
BIO-02	Yuko Shimizu-Motohashi	National Center of Neurology and Psychiatry Hospital, Department of Child Neurology, Tokyo, Japan	Evolving trends and healthcare infrastructure in Duchenne muscular dystrophy: A nationwide analysis in Japan
BIO-03	Kazumasa Zensho	Department of Medical Neurobiology, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama, Japan	DYX1C1 correlates with pyramidal neuron marker EMX1 in cortical development: computational and experimental evidence
BIO-04	Mayumi Echizen	Department of Anesthesiology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Institute of Science Tokyo, Tokyo, Japan	Setd1b haploinsufficiency in mice causes prefrontal dysfunction and neurodevelopmental disorder-like behavior
BIO-05	Taisei Kayaki	Department of Pediatrics, Kyoto University Graduate School of Medicine, Kyoto, Japan	NGEF deficiency underlies a lower motor neuron-specific pathomechanism in spinal muscular atrophy

International Session (Platform Presentation) 1

June 5 9:10~10:00 Room 5

Chair Ken Inoue (National Institute of Neuroscience, NCNP)
Hirotomo Saito (Department of Biochemistry, Hamamatsu University School of Medicine)

IO1-01	Kyoko Hoshino	Minami Wakayama Medical Center, Wakayama, Japan	AP4S1 associated hereditary spastic paraplegia (HSP52): the first case in Japan
IO1-02	Tomonori Ono	Epilepsy Center, NHO Nagasaki Medical Center, Omura, Nagasaki, Japan	In-vivo evidence of the association between neuronal conduction velocity and the development of myelination in humans
IO1-03	Risako Ishioka	Department of Pediatrics and Neonatology, Nagoya City University, Graduate school of Medical Sciences, Japan	A novel gain-of-function variant in MYCN causing megalencephaly-polydactyly syndrome
IO1-04	Osamu Kobayashi	Department of Pediatrics, Oita University Faculty of Medicine, Japan	Association between the home environment at the 4-month health checkup and infant spontaneous movements
IO1-05	Emi Yoshida	Department of Pediatrics, Tokyo Metropolitan Tobu Medical Center for Children with Developmental Disabilities, Tokyo, Japan	Coffin-Siris Syndrome with a de Novo ARID1B nonsense variant and autism in an Extremely Low Birth Weight Infant

International Session (Platform Presentation) 2

June 5 9:10~10:10 Room 6

Chair Takashi Saito (Department of Child Neurology, National Center of Neurology and Psychiatry)
Michelle Go. Sy (University of Santo Tomas Hospital)

IO2-01	Yoko Kobayashi	Department of Child Neurology, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan	Differences in the Pediatric-to-Adult health care Transition Across Childhood-Onset Neurological Disorders
IO2-02	Sotaro Kanai	Division of Pediatric Neurology, David Geffen School of Medicine at UCLA, Los Angeles, CA, USA	Short-Term Modulation of Epileptic Network with Low-Frequency Thalamic Stimulation
IO2-03	Hirokazu Takeuchi	Department of Pediatrics, The Jikei University Katsushika Medical Center, Tokyo, Japan	Predictive factors for the second time unprovoked seizure in Epilepsy
IO2-04	Nanae Kawano	Department of Pediatrics, Oita University, Yufu, Japan	General movement of preterm infants with intraventricular hemorrhage and periventricular leukomalacia
IO2-05	Kohei Sunoki	Department of Pediatrics, Jichi Medical University, Tochigi, Japan	A novel screening method for folate metabolism disorder
IO2-06	Yosuke Miyamoto	Department of Pediatrics, Graduate School of Medical Science, Kyoto Prefectural University of Medicine, Kyoto, Japan	Therapeutic target discovery for AKT3-related refractory epilepsy using patient iPSC-derived glutamatergic neurons

International Session (Platform Presentation) 3

June 6 9:10~10:00 Room 6

Chair Tomoyuki Akiyama (Department of Pediatric Neurology, Okayama University Hospital)
Nazira Dyussebek (Center for Perinatology and Pediatric Cardiac Surgery., Almaty, Kazakhstan)

IO3-01	Syunsuke Nagara	Japanese Red Cross Takayama Hospital	A case of hnRNPU-associated neurodevelopmental disorder with acute encephalopathy complicated by basal ganglia lesions
IO3-02	Naohiro Matsumaru	Division of Pediatric Neurology, Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center, Hyogo, Japan	Autoimmune encephalitis as a novel neurological manifestation of IPEX syndrome : A case report
IO3-03	Yoshihiko Saito	Department of Neuromuscular Research, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan	Distinctive whole-body imaging signature of ADSS1 myopathy: Progressive lower-limb involvement with trunk sparing
IO3-04	Eriko Hatai	Laboratory of Neural Regeneration and Brain Repair, Division of Biological Science, Graduate School of Sciences and Technology, Nara Institute of Science and Technology, Nara, Japan	Establishment of a microglia-humanized mouse model for neuroinflammatory diseases
IO3-05	Ryosuke Suzui	Department of Pediatric neurology, National Center of Neurology and Psychiatry Hospital, Tokyo, Japan	Longitudinal study of heart rate variability in patients with Duchenne muscular dystrophy

フリーディスカッション 6月5日(金) 18:20~19:20

International Session (Poster Presentation) 優秀演題賞/若手優秀演題賞セッション

BIP-01	Kazumasa Zensho	Department of Pediatrics, Kurashiki Medical Center, Okayama, Japan	Umbilical Cord Blood Markers Predict Neonatal Hypoglycemia in Full-term Small and Large for Gestational Age Infants
BIP-02	Mai Anzai	Laboratory for Brain Development and Disorders, RIKEN CBS, Saitama, Japan	Visuomotor training highlights behavioral alterations in the mouse model of Rett syndrome
BIP-03	Takumi Katsuragi	Department of Pediatrics, Graduate School of Medical Science, Kyoto Prefectural University of Medicine, Kyoto, Japan	Effects of high-fat diet during pregnancy and lactation on behaviour and hypothalamic orexin neurons in mice offspring
BIP-04	Akiko Shibata	Laboratory for Brain Development and Disorders, CBS, RIKEN, Wako-shi, Japan	MeCP2 mosaicism alters long-range cortical synapses in the mouse model of Rett syndrome
BIP-05	Russell Chin	GRIN Therapeutics, Inc., A Neurvati Neurosciences Company, New York, USA	Novel Features of a Phase 1b/2a Radiprodil Trial Advancing to Phase 3 in GRIN-Related Neurodevelopmental Disorder
BIP-06	Midori Nakajima	Division of Neurology, Department of Pediatrics, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan	Long term outcome of Focal cortical Dysplasia at the Bottom of Sulcus identified by AdSPM

フリーディスカッション 6月4日(木) 18:10~19:10

International Session (Poster Presentation)

IP-01	Michelle G. Sy	Section of Child Neurology and Neurodevelopmental Medicine, Department of Pediatrics, University of Santo Tomas Hospital, Manila, Republic of the Philippines	The Lived Experiences of Family Carers Supporting Youth with Neurodevelopmental Disorders Transitioning to Adult Care
IP-02	Urfianty Said	Department of Pediatrics, Faculty of Medicine, Hasanuddin University, Indonesia	Molecular and clinical profile of children with first-generation anti-seizure medication therapy
IP-03	Takato Akiba	Department of Pediatrics, Juntendo University Urayashu Hospital	Clinical features of travel induced epileptic seizures that required an emergency response
IP-04	Gen Furukawa	Department of Pediatrics, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Japan	Clinical Evaluation of Buccolam [®] Usage and Its Efficacy in the Emergency Department
IP-05	Nazira Dyussebek	Perinatology and Pediatric Cardiac Surgery Center., Almaty, Republic of Kazakhstan	COL6 diseases among patients with CP in Kazakhstan
IP-06	Kazuko Takayama	Tokyo metropolitan Fuchu Rehabilitation center	Management of renal anemia in severe motor and intellectual disabilities patients with chronic kidney disease
IP-07	Shino Shimada	Department of Pediatrics and Adolescent Medicine, Juntendo University Graduate School of Medicine	Biallelic TFRC Variants Cause Neonatal Onset Multisystem Mitochondrial Disease First Human Case Report
IP-08	Taku Omata	Department of Pediatrics Tokyo Women's Medical University Yachiyo Medical Center, Chiba, Japan	Clinical course of pediatric acute encephalopathy by timing of mitochondrial cocktail therapy and MRS findings
IP-09	Kentaro Sano	Department of Pediatric Neurology, Tokyo Women's Medical University Yachiyo Medical Center, Chiba, Japan	Efficacy of lacosamide for paroxysmal kinesigenic dyskinesia with auditory abnormalities associated with carbamazepine
IP-10	Yukako Yae	Department of Neuromuscular Research, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan	Selective muscle involvement in tubular aggregate myopathies associated with STIM1 and ORAI1 variants